



国際ロータリー第2760地区

2012年-2013年度のための

地区協議会報告書

奉仕を通じて 平和を

2012-2013年度 国際ロータリーのテーマ

地区のテーマ

～ Touch the Rotary ～
ふれあい、思いやり、そして握手

◆開催日◆ 2012年4月15日(日)

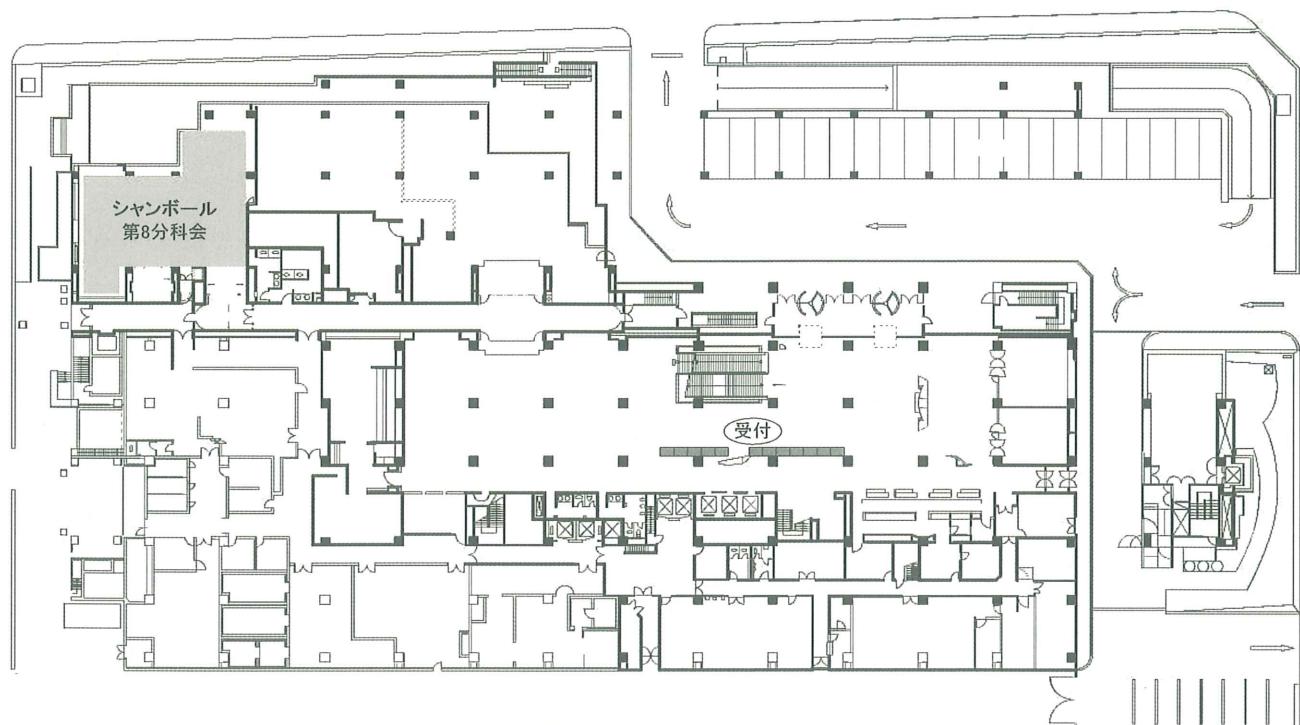
◆会 場◆ ウエスティンナゴヤキャッスル

ホストクラブ:名古屋千種ロータリークラブ

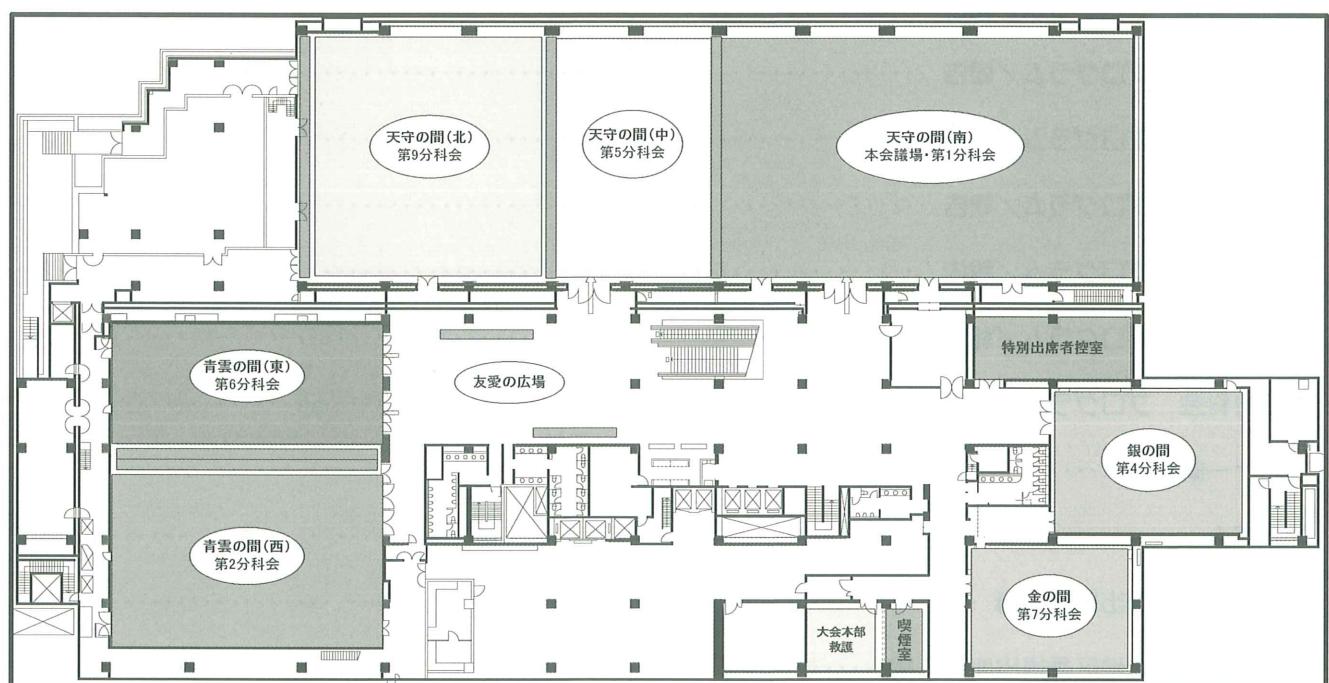
目次

| | |
|------------------|----|
| 会場案内図 | 2 |
| 地区協議会プログラム | 3 |
| 開会の言葉 | 4 |
| 歓迎の挨拶 | 5 |
| ガバナー挨拶 | 6 |
| 次期地区研修リーダー挨拶 | 7 |
| ガバナーエレクト講話 | 9 |
| 第1分科会 プログラム／報告 | 12 |
| 第2分科会 プログラム／報告 | 14 |
| 第3分科会 プログラム／報告 | 16 |
| 第4分科会 プログラム／報告 | 18 |
| 第5分科会 プログラム／報告 | 20 |
| 第6分科会 プログラム／報告 | 22 |
| 第7分科会 プログラム／報告 | 24 |
| 第8分科会 プログラム／報告 | 26 |
| 第9分科会 プログラム／報告 | 28 |
| ガバナー講評 | 30 |
| アルバム | 31 |
| 地区協議会特別出席者名簿 | 34 |
| 地区協議会次期地区委員出席者名簿 | 36 |
| 出席義務者名簿 | 38 |
| 登録者名簿 一般会員 | 46 |
| インターラクトクラブ | 47 |
| ローターアクトクラブ | 47 |
| 地区大会・次期地区協議会のご案内 | 48 |

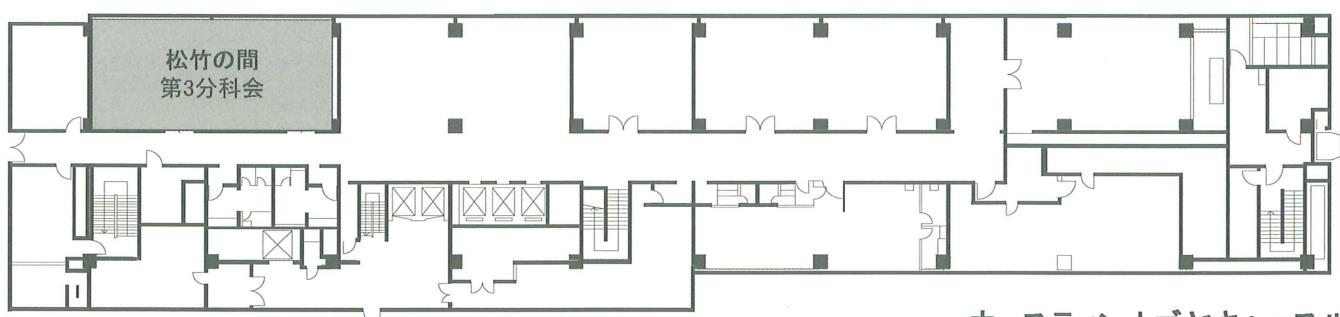
会場案内図



ウェスティングハウスキャッスル
1階 平面図



ウェスティングハウスキャッスル
2階 平面図



ウェスティングハウスキャッスル
3階 平面図

地区協議会プログラム

RI第2760地区

2012~2013年度のための

地区協議会スケジュール

開催日時 2012年4月15日(日)10:30~15:00

開催場所 ウェスティンナゴヤキャッスル

ホストクラブ 名古屋千種ロータリークラブ

| 次 第 | 時 間 | 内 容 |
|---|----------------------------|---|
| 受付 午前の部 本会議 (10:30~12:00) 点鐘 開会の言葉 国歌「君が代」斉唱 ロータリーソング「奉仕の理想」 登壇者紹介 歓迎の挨拶 特別出席者紹介 出席者紹介 (分区・クラブ・会員数) ガバナー挨拶 次期地区研修リーダー挨拶 ガバナーエレクト講話 ガバナー引継・記念エンブレム贈呈 地区幹事引継・記念エンブレム贈呈 ガバナーズ・クラブバナー引継 ガバナー・地区幹事へ花束贈呈 2012~2013年度地区大会ご案内 次期地区協議会ホストクラブ発表 次期ホストクラブ挨拶 諸事のお知らせ | 9:30~10:20 10:30~12:00 | 司会 萩原 喜代子 ガバナーエレクト 千田 育親 実行委員長 三好 恵恩 ソングリーダー 大谷 恩路 ソングリーダー 大谷 正幸 実行副委員長 林 由輝 ホストクラブ会長 池森 幸郎 次期地区幹事 柳澤 一典 ホストクラブ幹事 足立 昌和 ガバナー 松前 和毅 バストガバナー 石川 典和 ガバナーエレクト 千田 毅 ガバナーエレクト 千田 毅 次期地区幹事 柳澤 幸輝 ガバナーエレクト 千田 毅 大会実行委員長 齋名 俊裕 ガバナーエレクト 千田 毅 次期ホストクラブ 一色 R C 司会 萩原 喜代子 |
| 移動・食事 | 12:00~12:50 | (各分科会 会場) |
| 午後の部 分科会 | 12:50~14:30 | 第1~9分科会 ※第7分科会 12:30~14:30 |
| 移動・休憩 本会議 (14:45~15:00) ガバナー講評 点鐘 | 14:30~14:45 15:00~16:30 | |
| | | ガバナー 松前 憲典 ガバナーエレクト 千田 毅 |
| 2012~2013年度のための会員増強セミナー | | |



開会の言葉



地区協議会実行委員長
千種ロータリークラブ

三好 親

皆さん、おはようございます。

まず最初に、非常に大きな不手際をいたしました。申しわけございません。千田ガバナーエレクトには重ねておわび申し上げます。申しわけございませんでした。今後このようなことがないように、ひとつ心を入れかえてやっていきたいと思います。

さて、本日は大勢の方にお集まりいただきました。又、ご遠方の皆様には朝早くからお越し頂き、最終登録者が1,499名です。実質的にはご登録以外の方も参加されておりますので、1,500名超の方にご出席いただきました。本当にありがとうございました。

今日は、手前の不手際をさておいて申しわけないんですが、あらかた4時ぐらいまで、次年度、千田ガバナーエレクトのための協議会であります。より一層のすばらしい年度にするための勉強会であります。一番勉強させていただいたのは私かなと思います。日曜日のすばらしいお天気となりましたが、最後の最後まで、途中で抜けることのないようにご熱心なご参加をお願いしまして、開会の言葉とさせていただきます。

よろしくお願い致します。



歓迎の挨拶



ホストクラブ
名古屋千種ロータリークラブ
会長

池森由幸

皆様、おはようございます。

ご紹介にあずかりました第2760地区協議会ホストを務めさせていただきます
名古屋千種ロータリークラブ会長、池森由幸と申します。本日は、よろしくお願
い申し上げます。

開始冒頭より、緊張を和らげるための新しいサプライズかと思わんばかりのハ
プニングが生じてしまいました。千田エレクトには大変失礼いたしました。千田
エレクト、会員諸氏には大変ご迷惑をお掛けしました。ホストクラブとして不手
際をお詫び申し上げます。

今日の地区協議会は、田中作次国際ロータリー会長が掲げられる次年度の方針
を千田エレクトが皆様にお示しし、また午後は、各委員会の委員長から地区内ク
ラブの担当者に対して次期事業についてご説明を申し上げる大変重要な会議でご
ざいます。私ども千種ロータリークラブはこの一年間、前年度の知多ロータリー
クラブさんからのご指導を頂きながら準備に努めてまいりました。とは申しまし
ても私共クラブにとりまして地区協議会のホストを務めますのははじめてであ
り、不慣れな点が有るかと存じますが、もし者場合にはロータリーの友情をもち
ましてお許しいただきたいと思います。

今日一日、長丁場になると存じますが、実りある成果を各クラブにお持ち帰り
いただきますように祈念いたしまして、ご挨拶にかえさせていただきます。

今日はお集まりいただきまして、どうもありがとうございました。



ガバナー挨拶



国際ロータリー第2760地区
ガバナー

松前 憲典

皆さん、こんにちは。

陽春の季節となりました。今年はいつまでも寒気がありまして桜の満開がちょっと遅れておりましたが、その桜もきれいに咲きまして、美しく咲いた桜も散り始めております。

さて本日は、2012～2013年度の地区協議会に約1,500名の地区リーダーの皆様、多数のご出席をいただき、心から厚く御礼を申し上げます。

地区協議会は、ロータリー行事の中で最も重要な地区的会合の一つであります。これは次期クラブ指導者が一堂に会して次年度地区方針に沿ったクラブ運営をしていくための勉強会でございます。地区協議会がどれだけ目標を達成できるかによって次年度のロータリークラブの成否が決まると言っても過言ではございません。地区協議会は、クラブ指導者が毎年7月1日に交代するにもかかわらず、その前後をつないでロータリーの奉仕プログラムを継承して行えるようにしている極めて大切な連結点でございます。

2012～2013年度のR I のテーマは「奉仕を通じて 平和を」、田中作次次期R I 会長が発表されました。田中作次さんは日本で3人目のR I の会長であります。埼玉県の八潮ロータリークラブの所属であります。田中作次さんは、挑戦、チャレンジ、創造、勤労の美德をみずから実践されたすばらしいロータリアンであります。田中R I 次期会長は、奉仕を通じて平和の精神をもって、ロータリーの究極の目的である平和

な世界に向けて邁進していただきたいと申されております。どのように定義されても、平和がロータリーにとって究極の、そして実現可能な目標であることを理解してくださいと述べられております。

さて、私は昨年の3月、4月、胃潰瘍のため入院いたしまして、この地区協議会に失礼をいたしまして大変ご迷惑をおかけしたこと、本席をかりて深くおわびいたします。その後、おかげで大変元気になりました、各分区も回らせていただきまして、皆様のご支援に、本席をかりまして厚く御礼申し上げます。

本日の地区協議会の開催に当たり、ホストクラブ名古屋千種ロータリークラブの皆様のご尽力に心から感謝申し上げます。本日の地区協議会は、第1分科会より第9分科会まであります。運営が円滑に進みますよう、また実りある次年度の地区指導者会議になりますよう祈念して、ガバナーのご挨拶とさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。



次期地区研修リーダー挨拶



パストガバナー
豊橋ロータリークラブ

石川 和昌

皆様、今日は。只今ご紹介を頂きました次期研修リーダーを拝命致しました石川和昌です。所属は豊橋ロータリークラブです。

今日、私がここへ出て来るとは夢にも思っていました。従来、研修リーダーと言うのはガバナーの就任順と決まっておりました。たまたま今回は東三河分区から出ておられた大澤パストガバナーがご病気で全期、任に耐えないと言う事で二人三脚で千田ガバナーエレクトから急遽ご指名を受けた訳であります。

実を申せば、私はクラブ会長を務めましたが33年前、しかもガバナーを務めましたのも17年前の事です。文字通りポンコツで今更ここへ出て来て研修リーダーとして皆様にお話しする事はありません。しかし研修リーダーをお受けした以上、色々と文献も揃っていることですから経験を交えてお話しすればよいのではないかどうかと多少タ力をくくって出て参りました。

今日、皆様の真剣なお顔を見し、何をお話出来るのかと色々と思いを巡らせております。

私の役目と言うのは手綱要覧をご覧頂ければ一目瞭然、43ページに書いてあります。唯、このRLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）が新しいパイロットプランとしてRIの地区への推奨事項になっていることです。当地区はこう言った新しいプランを積極的に取り入れていく地区であります。既に今年度、松前G年度から委員会が組織されています。関口研修委員長

以下リーダーを務めらる各委員の方々は非常に熱心に取り組んでおられます。この後、第9分科会でご披露がある訳であります。

ただ、私が考えるにこのやり方はリーダー次第で非常に難しい面を持っております。

どちらかと言うと日本人の体質に合っていないのではないかとさえ思います。

何故かと言いますと17年前、ガバナーエレクトとして国際協議会に出席、色々と教育を受けてきました。

その時、グループ別協議でリーダーは日本人のパストガバナーが務めておられました。その内1人のリーダーはマニュアル通りに直訳的に指導されました。訳の判らないうちに指名され答えねばなりません。結果は非難轟々で「何で今更こんなやり方でこんな事をやらなきゃいかんのか」と言うのが結論でした。最終、必ずリーダーの評価をする書面が配られますから皆ペケペケをつけ、次の国際協議会のリーダーから外されました。

要は我々もアメリカ的なグループ指導に慣れておらず、リーダー次第であると言う事を学びました。

このRLIはそもそも1933年だったと思いますがアメリカニュージャージー州の地区で元RI理事の方が提唱され、草の根運動的にロータリーを学ぶ為の研究会として他地域に拡がったものだと聞いております。

時は流れ、ロータリーも変わって参りました。今や



R I 理事会の推奨事項としてR L I が取り上げられ、多くの地区が取り入れています。

若干、脇道のそれますが3年毎の規定審議会の事にれます。地区の議決権を持ってロータリーの憲法に当たる案件を審議する大変重要な會議です。私が地区代議員として出席してから内藤、野村両パストガバナーが代議員として出席されていますから多分このR L I が決議案として採択されたのは前回か前々回の時ではないでしょうか。私は不勉強で当初、決議案と制定案の区別が曖昧でした。決議案が採択されれば即実行と文字通り思っていましたが決議案は理事会に要請する事を決議する事で決定権はR I 理事会にあります。

定款細則等を改正するのが制定案でほとんどがR I 理事会からの提案です。クラブや地区からの提案はほとんどが決議案です。決議されても理事会へ付託されるだけですから即、拘束力はありません。

この決定に基づきR L I は地区へよい勉強方法だから取り入れ事を勧めている訳です。この方法が良いと言う事なので日本でもR L I 研修セミナーテキストがロータリー・リーダーシップ研究会日本支部により作られ普及を図っています。日本では当地区を含め幾つかの地区がこの日本支部に加入しています。やがては全地区に普及し、世界でも普及していく方向にあると言えます。本日、第9分科会でその1つの実例が示されます。現在は松前G年度の地区協ですので第9分科会は次年度の次の会長候補が出席されている訳でありますから新しい方によって学ばれ、ロータリーに対する自分の考えを述べたり、勉強方法をクラブ運営に取り入れられるようお願いしたいと思います。

とは言え、今地区協議会は来年度の事について学ばれる機会であります。幸い、来年度のR I 会長は日本人の田中作次氏です。「サービスを通じて平和を」をテーマに掲げておられます。千田ガバナー選出は地区方針「Touch the Rotary」を示されておられますので両方をいかに結び付け、あまねく皆様方、特に指導者の方々にR I テーマをご理解願い、伝えていく

かが本日の会議の一番の聞きどころであるとお考え頂きたいと思う訳であります。

私に与えられた8分と言う時間は以上であります。以下は各分科会に分かれおりますが私の所属する第9分科会では経験を通じお話する機会もあろうと思います。私もこの機会に勉強したいと思いますので宜しくお願い申し上げご挨拶に代えさせて頂きます。



ガバナーエレクト講話



ガバナーエレクト
千田 紩

皆様、おはようございます。

桜も散り始めました。花吹雪でございます。私の門出を祝うような花吹雪で、風情のあるものでございます。今日はこんなにいい天気で、本来なら皆さんゴルフにでもとお考えでしょうが、残念でございました。

今、私が申し上げるべき事を松前ガバナーおりおっしゃっていただきましたので、地区協議会についてはおわかりのことだと思います。いずれにいたしましても、次年度のリーダーたるクラブの会長、委員長が相集いてロータリーについて勉強し、研修して、その成果を持ってクラブの運営、委員会の発展に寄与するということでございます。私も一緒に勉強してまいりたいと思います。

それでは、まず最初に CD をご覧下さい。

[2012年国際協議会 CD放映]

ありがとうございました。

それでは、これから私の話をさせていただこうと思います。

まず、ガバナーとは R I 役員の一人でございます。国際ロータリーの方針を忠実にお伝えして、R I 会長テーマに沿ってお話を進めてまいり、その心を皆様にお伝えするのが第一の目的でございます。

まず、国際協議会に出席して、R I テーマ、地区スローガン、私の考えるロータリー、終わりに……と、

このような順序で話を進めてまいりたいと思います。

国際協議会とは、ガバナーエレクトにロータリーを教育しその管理の指導を受けさせ、ガバナーエレクトの同期の皆さんと討議をして研修するというのが主たる目的でございます。私も研修に参加いたしましたが、なかなか大変なものでございました。また、奥様たちもサポートセッション、配偶者セッションというのがあり参加致しました。あとで聞きますと、なかなかこれも大変だったそうです。しかし非常に楽しく喜びも深く、たくさん友人もできたということでございます。

いずれにいたしましても、このような得がたい機会を与えてくださいました2760地区の会員の皆様方に心から、家内ともどもお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

続いて、R I テーマを申し上げます。「奉仕を通じて 平和を」でございます。

田中会長はスピーチの中で自分の生き立ちを、「東北の小さな村の貧しい家庭に生まれ、週に一度お母さんと一緒に市場へ野菜を売りに行く20kmの道のりが私の世界の全てでした。そしていつかは世界の遠くへ、遠くの国へ行ってみたい。そして外国の方と話をしてみたい。そういう願望でした。今は幸いにして、ロータリーに入って、世界の隅々までお邪魔してたくさんの外国の方のお友達ができた。本当にロータリーに感謝しています。」という話でございました。

スピーチが終わりますと、みんなが立ち上がって、



拍手が鳴りやみませんでした。やはり人の心を打つ話というのは、その人の人格、人柄だろうと、つくづく感じ入りました。

会長のおっしゃる「平和」というのは、いろいろな見方がありますが、戦争の対極にある平和だけでなく、世界の平和、国の平和、地域の平和、あなたの町の平和、あなたの家庭の平和、最後はあなたの心の中にある平和、これがあれば世界は必ずや幸せな世界になっていくというお考えだろうと私は推察いたしました。本当にそのとおりだと思います。「奉仕を通じて 平和を」を座右の銘として、この地区を通じてお話をしまいりたいと思っております。

次に、R.I.会長は2012-13年度の強調事項として「ロータリークラブと地区による平和活動」を挙げられました。その中で五つ提唱していらっしゃいますが、私は

1. クラブや地区の平和フォーラムを開催する
2. 地域平和フォーラムを開催する を実践していく

たいと思っております。そしてこれを分区・クラブ、そして委員会等で何らかの関連づけた催しを行っていただけないかと思っております。

いまひとつは、ロータリー世界フォーラムの推進です。ベルリン、ホノルル、広島の3カ所で計画しております。ベルリンはご存じのように国境が町の中にあった都市でございます。この都市で「国境のない平和」をテーマとするのは、非常に所を得た地だと思っております。

ハワイは、「平和にいたる緑の道」でございます。ありていに言えば環境問題でございます。砂漠化、南太平洋の氷の崩壊、ブラジルの森林伐採等々、枚挙にいとまがありません。しかし、緑豊かなハワイでこの会議をやるというのも、また一理あることだと私は思います。

広島（日本）「平和はあなたから始まる」でございます。広島はご存じのように平和のとりででございます。平和会議は2710地区の川妻二郎パストガバナーが議長になられ、私どもの同輩の大之木ガバナーエレクトが世話役をされます。日本の広島会議は、若い人

に焦点を当てて、ロータリアンとともに平和について語り合うというのが一番の特徴でございます。そのために600人の新世代の皆様方に出席して頂く予定です。

田中会長のおっしゃる平和に向けて一番の貢献でございますから、私どもの地区としては物心ともに応援をしてまいりたいと思っております。

続いて、地区運営について話させていただきます。

私の年度の地区運営は、スローガンとして「～Touch the Rotary～ ふれあい、思いやり、そして握手」でございます。重要項目として、会員増強、東日本大震災被災高校生支援、地区内交流の活性化、オンラインツーリズムでございます。

会員増強は、松前ガバナーが本当に熱心に取り組みになられ、委員長初め増強委員会の皆様にはご努力を頂いております。松前ガバナーの意思を継いで、私も会員増強を一生懸命やってまいりたいと思っております。

私どもの地区は、言うまでもなく日本で有数、世界で有数の地区でございます。それは皆様方クラブの一人一人がご努力なさった結果だと私は思っております。その優秀な、伝統ある地区を私は一年間お預かりして、守り育て、より一層立派な地区にすべく努力する覚悟でございます。一つ一つはなかなか大変なことでございますが、ぜひともご努力賜りますようお願い申し上げます。

国際ロータリーは戦略的計画を実施しております。これは優先項目が三つ、中核となる価値観が五つでございます。これは田嶋年度から始まりまして、皆様方に何度も何度もお話をされてご理解いただいていることだと思います。これそのものは本当に崇高な理念で、これを遵守してクラブ運営、地区運営に反映してまいりたいと思っております。この戦略計画の優先項目の三つ、中核となる価値観の五つは、すべて四つのテスト、ロータリーの綱領に反映されていると私は思っております。

私は、四つのテスト、ロータリーの綱領を遵守して



生活信条としていただければ、立派なロータリアンであり、そしてこれをやっていただけるのが立派なロータリー奉仕活動だと思っております。よろしくお願ひいたします。

次に地区内交流の活性化でございます。私どもの2760地区には、地域の違いや構成人員・歴史も違ういろいろ特徴のある82クラブがございますので、普段あまり行かれないクラブにメーキャップしてください。そしてメーキャップされたクラブは、ビジターを心から歓迎して、そのビジターから何らかを受け取ってください。また訪問したロータリアンは、その経緯をクラブで話してください。きっとそれは双方ともに相乗効果を生んで、ロータリーの発展に寄与するものと考えます。

ガバナー補佐の皆様がお決めいただいたクラブに最低各クラブ2人の方がお出かけください。

イギリスの新聞は、大震災の時に、「我々が敬意を表してやまないのは日本の政治家や官僚ではなく。ただ普通の日本人の気高さやあります。あの困窮の中でも自分のものをみんなと分かち合い、救援物資や食事を整然と並び受け取っていた姿に、東北の方々に頭が下がる思いだ」と報じられていました。

私も財団のお世話で東北の被災地区にお邪魔させていただく機会がございました。本当に現状を見て言葉がありませんでした。私は、この気高い東北の皆様方に何らかのお手伝いができるのか。お手伝いをしたいという思いいっぱいで帰りました。もちろん各クラブ、各ロータリアンの皆様方それぞれにたくさんの寄附行為、いろいろなさっていらっしゃいます。ボランティア活動をされていることもよく存じております。また、田嶋年度に始まり松前年度にもいろいろなご寄附をいただきました。よく存じております。

それでもあえて私は東北の皆様方に少しでもお役に立ちたいと思い、このプロジェクトを立ち上げました。被災高校生30人に毎月3万円を送るという計画でございます。被災高校生の中には親を亡くした子どももいます。その子どもたちに、あなたは1人ではないん

だよと。60人のお父さん、お母さんがいるんだよと。30人の子どもたちの心の中で生きるようなお手伝いをしたいと思い、ワンコインプロジェクトを立ち上げました。

いろいろなことがあろうかと思いますが、ぜひともご協力賜りますように、重ねてお願ひ申し上げます。詳細につきましては、私どもの地区で、高校生支援委員会の本多委員長がいろいろお願ひに参ると思いますけれども、その節はよろしくお願ひを申し上げます。

終わりに、人として人にふれあい、思いやりを持つて接する、Touch the Rotary、あなたのロータリーを身近に置いてください。「Touch」は「Attachment」とルーツが一緒、同意語でございます。愛着でございます。どうかロータリーに愛着を持ってください。そして、クラブに、地区に、R I に愛着を持ってください。

最後に、各クラブ及び各委員会がより発展しますことを祈念いたしまして、ご挨拶とします。

ありがとうございます。



地区協議会分科会 プログラム -第1分科会-

〈クラブ管理運営部門〉

会場:【2F】天守の間(南)

テーマ:奉仕を通じて平和を

リーダー

ガバナー

松 前 憲 典

アドバイザー

パストガバナー / 次期拡大委員長

豊 島 徳 三

アドバイザー

ガバナーエレクト

千 田 穀 規

アドバイザー

ガバナーノミニー

田 中 正 規

アシスタントリーダー

次期ガバナー補佐

小 原 久 和

司 会

次期地区副幹事

奥 村 哲 司

1 開会の辞及び特別出席者紹介

次期地区副幹事

奥 村 哲 司

2 アドバイザー挨拶

ガバナーエレクト

千 田 穀 規

3 リーダー挨拶

ガバナー

松 前 憲 典

4 アドバイザー挨拶

パストガバナー / 次期拡大委員長

豊 島 徳 三

5 アドバイザー挨拶

ガバナーノミニー

田 中 正 規

6 次期ガバナー補佐挨拶

地区幹事

小 原 久 和

7 地区幹事挨拶

次期会員増強リーダー

長 谷 川 正 己

8 誇り有る増強

次期財務委員長

伊 藤 秀 雄

9 健全なる地区財務をめざして

次期ロータリー未来委員長

岩 瀬 淳 一 郎

10 未来委員会の役割

次期東日本大震災プロジェクトについて 次期東日本大震災プロジェクト委員長

宮 崎 薫

11 次期被災高校生支援について

次期被災高校生支援委員長

鈴 木 元 弘

12 次期会計長挨拶

次期地区会計長

本 多 満

13 次期会計長挨拶

次期地区幹事

末 岡 熙 章

14 アシスタントリーダー挨拶

次期地区副幹事

柳 泽 幸 輝

15 閉会の辞

次期地区副幹事

奥 村 哲 司





第1分科会報告

文責：地区副幹事 奥村 哲司

地区協議会本会議の後、天守の間において、第1分科会（クラブ管理運営部門）が開催されました。

まず、アドバイザーである千田毅ガバナーイレクターが、次期ガバナーとして次年度に向けた協力をお願いしたい旨挨拶されました。次に、リーダーである松前憲典ガバナーが挨拶され、次期R1テーマとともに、心の平和の大切さを話されました。続いて、アドバイザーである豊島徳三パストガバナー／次期拡大委員長が挨拶のなかで、不易流行に言及され、より身近なロータリーを目指すことの大切さを話されるとともに、次期拡大委員長として新クラブ結成に向けた重点事項について話されました。そして、田中正規ガバナーノミニー、小原久和次期ガバナー補佐、長谷川正己地区幹事がそれぞれ挨拶され、次期ガバナー方針への理解と協力を求められました。

その後、次年度に向けて、伊藤秀雄次期会員増強リーダーが「誇り有る増強」、岩瀬淳一郎次期財務委員長が「健全なる地区財務をめざして」、宮崎薰次期ロータリー未来委員長が「未来委員会の役割」、鈴木元弘次期東日本大震災プロジェクト委員長が「次期東日本大震災プロジェクトについて」、本多満次期被災高校生支援委員長が「次期被災高校生支援について」をテーマとして、それぞれ話をされました。

そして、末岡熙章次期地区会計長、アシスタントリーダーである柳澤幸輝次期地区幹事がそれぞれ挨拶され、第1分科会が閉会されました。

次年度に向けて1時間40分にわたる大変充実した分科会でありましたことを、ご報告させていただきます。





地区協議会分科会 プログラム -第2分科会-

〈クラブ奉仕部門〉

会場:【2F】青雲の間(西)

テーマ:ロータリーを理解し、クラブを活性化しよう (魅力あるロータリークラブをつくる)

リーダー

次期クラブ奉仕委員長

重富亮

アドバイザー

パストガバナー

大島宏彦

アシスタントリーダー

次期ガバナー補佐

大橋昭治

司会

次期地区副幹事

浜洋一

1 開会の辞及び特別出席者紹介

次期地区副幹事

浜洋一

2 ロータリーの広報活動

アドバイザー
パストガバナー

大島宏彦

3 次期ガバナー補佐挨拶

アシスタントリーダー
次期ガバナー補佐

大橋昭治

4 会員増強と退会防止

アシスタントリーダー
次期会員増強委員長

小山慎介

5 IT委員会について

アシスタントリーダー
次期IT委員長

尾本和弘

6 広報活動について

アシスタントリーダー
次期広報・雑誌委員長

裕伸夫

7 「ロータリーの友」の活用について

アシスタントリーダー
ロータリーの友地区委員

河村嘉男

8 クラブ奉仕について

リーダー
次期クラブ奉仕委員長

重富亮

9 質疑応答・意見交換

アドバイザー
パストガバナー

大島宏彦

10 講評

アドバイザー
パストガバナー

大島宏彦

11 閉会の辞

次期地区副幹事

浜洋一





第2分科会報告

文責：次年度地区クラブ奉仕委員長 重富 亮

ロータリーを理解し、クラブを活性化しよう（魅力あるロータリークラブをつくる）のテーマの下、浜・次期副幹事の開会挨拶、司会進行により、以下の順に発表。

ロータリーの広報活動

大島宏彦（パスト・ガバナー）

先日、ロータリー公共イメージ・コーディネーター（R P I C）就任への依頼がR I からあったが、体調を理由に依頼はお断りした。R I P Cの目的は、ロータリーの一般の人々への認知の向上。中部経済新聞にロータリーの日程表が掲載されているが、当地区の出席率の高さの要因の一つと考えている。マスメディア、ソーシャルメディアの活用が必要。

次期ガバナー補佐挨拶

大橋昭治（次期ガバナー補佐）

クラブ奉仕は他の4大奉仕の基礎。会員増強には、ロータリーは普通の奉仕団体ではないという意識が重要。マスメディアを通してロータリーのイメージを高め、会員になりたいと思わせることが必要。退会防止には、親睦・趣味の会の活動が有効。

会員増強と退会防止

小山慎介（次期会員増強委員長）

当地区は13年前の会員数6,400名から、毎年30~40名減少し続けている。松前ガバナー年度はこの2月末現在で、4,920名。女性会員は、174名と49クラブに所属。33クラブには女性会員がない。全クラブに女性会員の入会を希望。3年未満の新会員が、クラブになじめないとあって退会。クラブ奉仕委員長は、月には一度は会員の退会の兆候を調査し、退会対策を。また、各クラブの魅力を高めるよう努力をお願いする。



I T委員会について

尾本和弘（次期I T委員長）

大島ガバナー年度からWEB公開。大沢ガバナー年度から残る形式で地区ホームページを運営。それ以後その形式を継承。地区の資料の不備を補うため、平成23年3月からレンタル・サーバー50GBを導入し、1949年第60地区時代からの月信を集め、WEBに公開。

広報活動について

畠 伸夫（次期広報委員長）

中部経済新聞に「私とロータリー」を連続掲載中。またロータリーのパンフレットを作製。紙媒体は消えていくので、今年度は広報のI T化を進める。当地区のハブとなるような広報委員会・ホームページを目指す。池森委員より、ホームページへのアクセスの実演。次年度は、各クラブに翌月の卓話予定者、ウィクリーのデジタル・データ・直近10年間の情報を送っていただくよう依頼の予定。

「ロータリーの友」の活用について

河村嘉男（ロータリーの友地区委員）

ロータリーの友は最大の情報源。4年分を各月毎にまとめて保管し、必要な時利用。ロータリーの友委員会では、ロータリー手帳の編集もしている。利用いただきたい。

クラブ奉仕について

重富 亮（次期クラブ奉仕委員長）

紙面の都合により省略。必要な方は守山クラブまでご連絡を。メールで資料発送します。

大島パスト・ガバナーの講評後、閉会。





地区協議会分科会 プログラム -第3分科会-

〈職業奉仕部門〉

会場:【3F】松竹の間

テーマ:ロータリーの職業奉仕について

リーダー

次期職業奉仕委員長

村井 総一郎

アドバイザー

パストガバナー

片山 主水

アシスタントリーダー

現職業奉仕委員長

國友 昌大

アシスタントリーダー

次期職業奉仕副委員長

早川 和男

アシスタントリーダー

次期職業奉仕副委員長

匹田 雅久

次期地区副幹事

柏木 功

1 開会の辞及び特別出席者紹介

次期職業奉仕副委員長

匹田 雅久

2 次期委員長挨拶

次期職業奉仕委員長

村井 総一郎

3 アドバイザー挨拶

パストガバナー

片山 主水

4 ①シェルトンの職業奉仕について

次期職業奉仕委員長

村井 総一郎

②決議23-34について

次期職業奉仕副委員長

早川 和男

③過去のアンケートに見る
職業奉仕月間のプログラムについて

次期職業奉仕副委員長

匹田 雅久

④質疑応答

⑤諸事連絡 (委員長会議の案内他)

次期職業奉仕副委員長

匹田 雅久

5 講評

現職業奉仕委員長

國友 昌大

6 閉会の辞

次期地区副幹事

柏木 功





第3分科会報告

●片山主水アドバイザー挨拶

部屋がとても狭く感じている。もう少し広くないとゆったりと研修ができるのではと感じている。次年度はもっと広い部屋で研修を行いたいと要望したいと思っています。

「奉仕」には次の三種類の奉仕があると思う。
「超我の奉仕」自己を抑えるという社会奉仕の理念。「彼我の奉仕」良い職業を行えば自己利益となる。最もよい奉仕をするものは最も多く報われるという職業奉仕の理念。

「自己奉仕」人間向上。ロータリーの中にある。本日はこれらの奉仕についてぜひとも研修をして少しでも知識にしていって欲しい。

●村井總一郎次期地区職業奉仕委員長よりシェルトンの職業奉仕についての解説

一年間職業奉仕委員長として、各クラブ職業奉仕委員長さんに活動の根幹を見出してより深いロータリー活動をしてもらえば幸いと思う。その後、資料を活用しシェルトンの職業奉仕の説明。職業奉仕が「幹」、クラブ奉仕や親睦は「根っこ」、社会奉仕や国際奉仕などは「花や実」と考え、根っこを広げて幹を太らせると社会奉仕が沢山できる。

よって職業という幹を太らせることが職業奉仕であり、四つのテストこそが職業奉仕の根幹である。職業奉仕とは自分の仕事を一生懸命に行う事である。という解説があった。

●早川和男次期副委員長より「決議23-34」についての解説

決議23-34を資料により解説。本年度のクラブ職業奉仕委員長さんの指針にしてもらいたいという解説。

●次年度地区内クラブ委員長会議について

8月28日（火）に地区内職業奉仕委員長会議を名鉄ニューグランドホテルで開催し、昨年同様のワークショップ形式で行う予定である。

●アンケートの結果発表と実施及び卓話について

昨年のアンケートの結果を発表した。8月の委員長会議開催にあたり、ロータリー歴や職業奉仕の例会の計画などを問う簡単なアンケートを行う予定である。また昨年のように職業奉仕月間に地区から派遣しての卓話は原則やらないので、クラブ職業奉仕委員長が卓

話をして頂く事を依頼した。また、職業奉仕月間では、地区職業奉仕委員会で、色々と協力していく事を伝えた。

●DVDの鑑賞と貸し出しについて

職業奉仕月間の卓話の補助資料として使用可能なDVDのさわりの部分の鑑賞とDVDの貸出の仕方について説明をした。

●國友昌大現職業奉仕委員長講評

本日の話により各クラブの委員会の活性化ができればよいと思う。本日の資料を熟読し職業奉仕を勉強してほしいとの講評。

●柏木功次期地区副幹事より閉会の辞

本日の分科会で職業奉仕について理解を深めて頂けたと思います。今一度「四つのテスト」を頭にしみこませて頂き、職業奉仕に取り組んで頂きたいと思います。

<まとめ>

まずは設営の千種クラブさんに感謝したい。今回の協議会で各クラブ委員長さんに、クラブ計画書の記載事項や職業奉仕月間プログラムについての、一定の考え方の参考になる情報が伝わったと思う。そして来る8月の地区内委員長会議で、職業奉仕に関する問題に取り組む意欲を駆り立てられたようだったので、とても有意義な分科会であった。残念なことに片山PG、他数名の委員長さんから会場の狭さ、そのために資料のDVDをみることができなかったとの指摘を受けた。次年度はぜひゆったりとした場所で分科会を行い、より一層の職業奉仕に対する理解度を増したい。そのことを一色クラブさんへ申し送りをしていただきたいことを切にお願いする。





地区協議会分科会 プログラム -第4分科会-

〈社会奉仕関連部門〉

会場:【2F】銀の間

テーマ:社会奉仕を通じて平和を

| | | |
|-------------|-------------|--------|
| リーダー | 次期地区社会奉仕委員長 | 長瀬 輝代之 |
| アドバイザー | パストガバナー | 福田 浩三 |
| アドバイザー | パストガバナー | 神戸 政治 |
| アシスタントリーダー | 次期ガバナー補佐 | 杉浦 三郎 |
| 時期地区RCC委員長 | 次期ガバナー補佐 | 永谷 文人 |
| 時期地区環境保全委員長 | 次期ガバナー補佐 | 筒井 信之 |
| 司会 | 次期地区副幹事 | 深川 白 |

| | | |
|---------------------|-------------|--------|
| 1 開会の辞及び特別出席者紹介 | 次期地区副幹事 | 深川 白 |
| 2 リーダー挨拶 | 次期地区社会奉仕委員長 | 長瀬 輝代之 |
| 3 アドバイザー挨拶 | パストガバナー | 福田 浩三 |
| 4 アドバイザー挨拶 | パストガバナー | 神戸 政治 |
| 5 次期ガバナー補佐挨拶 | | 杉浦 三郎 |
| 6 社会奉仕活動と展望 | | 長瀬 輝代之 |
| 7 私のクラブもRCCを造りましょう | 次期地区RCC委員長 | 永谷 文人 |
| 8 環境保全委員会の次年度方針について | 次期地区環境保全委員長 | 筒井 信之 |
| 9 閉会の辞 | 次期地区副幹事 | 深川 白 |





第4分科会報告

1. 開会の辞及び特別出席者紹介（深川）

2. リーダー挨拶

次年度に向けて話題を拾っていただきたい。パストガバナー、次期ガバナー補佐より挨拶をいただいた後で、各委員長からの報告がある。（長瀬）

3. アドバイザー挨拶

地区協議会では多くの情報を収集し、活動意欲を持つてほしい。テーマに沿って実りある一日であることを願う。（福田）

社会奉仕部門は多くのことがあるが、一つだけお願いしたい事は各クラブ独特の社会奉仕活動をしてほしい。（神戸）

4. 次期ガバナー補佐挨拶

各クラブでRCCを作つて活動を深めてほしい。（杉浦）

5. 社会奉仕活動と展望

R I 会長の挨拶について。「平和とは？」（別プリントを使用）

各クラブの活動状況の説明（現況調査報告書を使用）各クラブともレベルの高い活動をしておられる。他クラブ、他団体との共同テーマをもつての活動や地域のニーズに合わせた活動を軸に展開してほしい。

6. 私のクラブもRCCを造りましょう

2760地区は10ロータリーがRCCを実施している。全国で35~36ぐらいのRCCがあるが、その内の12が2760地区にある。豊橋の高沢パストガバナーのご尽力である。（永谷）

名古屋守山RCC、その他の活動紹介（プリント使用）結成方法などの説明

7. 環境保全委員会の次年度方針について

来年度も現鈴木委員長の方針に沿つて、生態系ネットワークの発想を引き継ぐ。

ESD国際大会に関わっていく。
行政の横割りをロータリーで繋げることができないか。

境川、衣浦港近辺の生態系と文化の融合

林業の活性化、森の健康診断

様々な課題に取り組んでいく。（筒井）

8. 質疑応答

特になし

9. 閉会の辞（深川）





地区協議会分科会 プログラム －第5分科会－

〈国際奉仕関連部門〉

会場:【2F】天守の間(中)

テーマ:国際理解を深め、奉仕を通じて平和を実現させましょう

リーダー

次期国際奉仕委員長

佐藤文昭

アドバイザー

パストガバナー

内藤明人

アシスタントリーダー

次期ガバナー補佐

本間毅

ガバナーエレクト事務所事務局長

新実宣英

1 開会の辞及び特別出席者紹介

ガバナーエレクト事務所事務局長

新実宣英

2 リーダー挨拶

次期国際奉仕委員長

佐藤文昭

3 アドバイザー挨拶

パストガバナー

内藤明人

4 国際奉仕と平和について

次期ガバナー補佐

本間毅

5

次期識字率向上委員長

鈴木吉男

①サムトン村小学校学用品の支援

豊橋ゴールデンロータリークラブ

高橋雅男

②19回日本愛知奨学金基金引き渡し

春日井ロータリークラブ

峰テル子

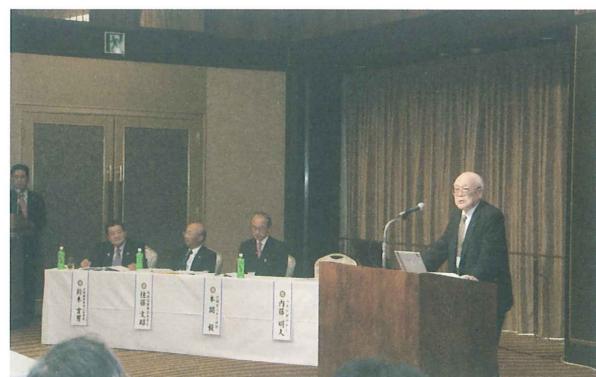
次期国際奉仕副委員長

杉浦敏夫

6 閉会の辞

ガバナーエレクト事務所事務局長

新実宣英





第5分科会報告

議事録

1. 開会の辞及び特別出席者紹介

次期国際奉仕副委員長 杉浦敏夫（豊田）

2. リーダーあいさつ

次期国際奉仕委員長 佐藤文昭（愛知長久手）

- 奉仕を通じて世界平和に貢献することが目的である。
- ただし、むやみに国際奉仕をするのではなく、それぞれの国の事情を知って国際奉仕を進めるのが重要である。
- そのために、国際事情を知るための勉強をすることが大切である。

3. アドバイザーあいさつ

パストガバナー 内藤明人（名古屋西）

- 本日は、おめでとうございます。
- 先週、イスラエルに行ってきました。イスラエルは、東京都とほぼ同じ面積で人口7百万人、周りの国とは相いれず、全部自活している。これは、イスラム教とは、相いれないという宗教心からである。
- 戦争があると、心の安らぎをもとめて、宗教が盛んになるが、平和続くと、宗教には関心がなくなる。
- 日本は、島国で平和なので、若者は宗教に関心が少ない。
- 日本は、なぜ武士道が盛んななど、日本の伝統と生き立ちを知ろう。
- みなさん、ロータリーに入って、ただ親睦の場ばかりでなく、研修の場となってもらいたい。例えば、ドイツのロータリーでは、ゴルフ会の一時間前に集合して、グリーンの上でセミナーをしている。互いに研修、啓発する場になってもらいたい。
- また、伝統的な神事や寺の行事などに参加して、地域の振興を図ってもらいたい。

4. 国際奉仕と平和について

次期ガバナー補佐 本間 毅（岡崎南）

- この4年間、WCS委員会に出向していた。この4年間、ラオスの山奥の小学校建設、ハノイの発達障害者支援施設建設、ベトナムの幼稚園建設などがある。
- 別紙WCS活動一覧にあるように、クラブとしての活動には、①クラブ独自の活動、②地区WCSに一任、③休止がある。
- 是非、休止ではなく、WCS活動に参加してほしい。
- また、クラブ独自の活動は、大変だけど、是非やってもらいたい。

5. 国際奉仕と平和について

次期国際奉仕委員長 佐藤文昭（愛知長久手）

- 国際奉仕の意味をわかってほしい。海外の違う地区的大会に参加するのもひとつだ。
- （内藤パストガバナー発言）20年ほど前、フィリピンの難民救済のために、2760地区から毎年800万円寄付する事業があったが、現地ロータリーが目的のために使途せざる分けにされてしまった経験から、フェアなロータリー活動をしている国はないので、気をつけてほしい。また、日本ほどその理念通りに国際奉仕ができる国はない。
- 今、内藤パストガバナーの発言があったように、この失敗を受けて、お金だけ出して終わりではなく、直接手渡しをする、JICAなど公共機関と協力するなど、本当に使途通り使われるかを確認する必要がある。
- この後、お話を聞いていただく豊橋ゴールデンRCの高橋さんと春日井RCの峠さんを紹介します。
- また、グローバル補助金があるが、3万ドル以上で、相手地区にロータリーが組織されており、かつ、その相手地区ロータリーの承認が必要など面倒な手続きが多く、去年、今年と2年間失敗しています。

6. 識字率向上について

次期識字率向上委員長 鈴木吉男（津島）

- WCS活動で学校はできても、本当に教育ができているのか確認ができない。
- 教育が行われるには、教員が必要なので、教員を育成する活動がこれからは大切だ。
- 識字率の向上は、1986年にRJで初めて取り上げられた。
- 識字率向上に大きく貢献したのは、最初にタイで行われたCLE教授法がある。これは、教科書ではなく識字率をあげることができ、CLE教授法を習得した教員を育成することにより、あまりお金をかけずに向上できる。
- ・ブラジルのユータジョン市の実例を、DVDにて視聴してもう。

① ハットファイ村小学校学用品の支援

高橋雅男（豊橋ゴールデン）

- 豊橋ゴールデンRCでは、今まで積極的な国際奉仕活動をしてこなかったので、最初は、何をしてよいかわからなかったが、たまたま、豊橋にラオスからの米山奨学生がいたこともあり、地区WCS活動のラオスの山奥の小学校建設のフォローとして、学用品などを支給する活動をすることにした。
- 1月24日から27日にかけて、二人でラオスに行ってきました。
- 日本からは奨学生から翻訳を入れてもらった絵本を持って行つたが、一番よろこんでもらえた。他のもの（パソコン、プリンター、ノート、鉛筆など）は、よりたくさん購入できるので、首都ビエンチャンで調達した。
- たった、予算10万円（現地では、100万円ぐらいの価値がある）（正確には、クラブ会員のカンパも含めて20万円程度）で、現地ハットファイ村の人たちから本当によろこんでもらえる活動をすることができたので、皆さんのクラブでも、是非、やってください。

② 19回目泰愛知奨学金基金引き渡し

峠テル子（春日井）

- 2月25日に、チェンマイで行われたタイ3360地区との（第）19回目泰愛知奨学金基金引き渡し（式）に、地区国際奉仕委員の方々に帯同して参加しました。
- 今回の引き渡しは、タイのモン族へ300バーツの袋にして一人ずつ手渡しされる。これを、モン族の長が預かることになっている。これらのお金は、2760地区から1000万円、3360地区から600万円を出し合ったお金を基金とし、その運用利息を毎年奨学金として渡してきた。
- タイ3360地区とは、30年前から2760地区と交流がある。この間、タイ政府の変化により、奨学生基金の引渡しも現金支給から、学校建設、青少年育成、そのための研修センターの建設など現物支給へと変化していかなければいけない時期が来ている。
- 引き渡し式のなかで、タイ3360地区のスンミン・パストガバナーからの支援・援助ではなく協力が大切だという言葉が印象に残っている。
- 私は国際奉仕委員ではないが、このような活動に参加したことによって、国際奉仕の理解を深めることができた。

7. 質疑応答

- なし

8. 閉会の辞

次期国際奉仕副委員長 杉浦敏夫（豊田）

- 本日、渡したアンケート用紙にクラブの国際奉仕活動方針などを記載して、各事務局までお願いします。

以上

記録：地区スタッフ 加藤義彦（名古屋東）



地区協議会分科会 プログラム －第6分科会－

〈新世代奉仕関連部門〉

会場：【2F】青雲の間（東）

テーマ：新世代奉仕活動・理念の実践とその課題解決に向けてパートII

| | | |
|---------------------------------|----------------------------|-------|
| リーダー | 次期新世代奉仕委員長 | 秋田 敬治 |
| アドバイザー | パストガバナー | 松本 宏 |
| アドバイザー | パストガバナー / RI青少年交換委員会理事長 | 斎藤 直美 |
| 司会 | 次期地区副幹事 | 野田 剛司 |
| 1 開会の辞及び特別出席者紹介 | 次期新世代奉仕副委員長 | 谷山 芳和 |
| 2 特別出席者紹介 | 次期地区副幹事 | 野田 剛司 |
| 3 リーダー挨拶 (新世代奉仕委員会活動方針) | 次期新世代奉仕委員長 | 秋田 敬治 |
| 4 アドバイザー挨拶 | アドバイザー | 松本 宏 |
| 5 アドバイザー | パストガバナー | 斎藤 直美 |
| 6 次期ガバナー補佐挨拶 | パストガバナー / RI青少年交換委員会理事長 | 加藤 良邦 |
| 7 インターアクト委員会活動方針 | アシスタントリーダー | 川村 荒治 |
| 8 ローターアクト委員会活動方針 | 次期ガバナー補佐 | 寺本 善雄 |
| 9 RYLA委員会活動方針 | アシスタントリーダー | 谷山 芳和 |
| 10 青少年交換委員会活動方針 | 次期RYLA委員長 | 岡田 雅隆 |
| 11 危機管理について | アシスタントリーダー | 黒田 勝基 |
| 12 質疑応答 | 次期青少年交換委員長 | |
| 13 意見交換 (各委員会別にグループディスカッション) | 進行役 各委員会副委員長 | |
| 14 講評 | アドバイザー | 松本 宏 |
| 15 閉会の辞 | パストガバナー | |
| | 次期地区副幹事 | 野田 剛司 |





第6分科会報告

地区新世代奉仕委員長 秋田 敬治

開会時刻を15分も早めて分科会を開始させて頂きました、ご参加の皆様にはご無理を申し上げましたが、ご協力ありがとうございました。先ず始めに新世代奉仕委員長として、以下の内容で『ご挨拶と活動理念・方針』の説明をさせて頂きました。

第6分科会にご出席の皆様には、日頃から地区新世代奉仕関連委員会の活動にご協力・ご支援を賜り、地区新世代奉仕関連の4委員会委員長を代表して厚く御礼申し上げます。

標準ロータリクラブ定款の第5条には「奉仕の第5部門である新世代奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクト及び国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プロジェクトを通じて、青少年並びに若者にとって、好ましい変化がもたらされることを認識（目的）するものである」と記載されております。

新世代のためのR.I.常設プログラムにはインターラクトクラブ（IAC）ローターアクトクラブ（RAC）ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）青少年交換（YEP）があります。これらは全て青少年たちの健全育成事業であります。どの事業も、ロータリーの奉仕の精神に基づき貴重なロータリアンの浄財（お金）を使い、ロータリアンが自らその活動に時間と情熱を注いでも、すぐにその成果を確認し、評価することは困難であります。

「未来へ向けて成果を託す・夢を追う」これが、青少年育成事業の理念であります。

ロータリアンが、その事業の主旨、目的を理解せず、理念の確立がないまま、若者たちを指導することがあってはなりません。国際ロータリーは、新世代奉仕関連のいかなる育成事業にも、ロータリアンが率先し

て、深く関わることを奨励しています。青少年育成事業の現場でのロータリアンは、常に教え、導き、示す、指導者としての理念と姿勢を堅持すべきであります。新世代育成事業の目的をしっかり認識して、彼等と共に、時間と空間を共有し、会話し、行動して、模範を示す必要があると思います。」

次にアドバイザーの松本 宏PGには「子ども達を健全育成するには」と題して講話を頂き、斎藤直美PG、加藤良法ガバナー補佐ご挨拶に続き、川村荒治IA、寺本善雄RA、谷山芳和RYLA、岡田雅隆YEP各委員長から活動方針を説明させて頂きました。また黒田勝基RI日本青少年交換委員会委員からは「危機管理の必要性」についてお話を頂きました。その後の委員会別のグループディスカッションでは、各々の課題解決策を全員参加で発言して頂く機会とし、グループ別のまとめを各委員会副委員長が発表致しました。

最後に松本 宏PGのご講評で会を締めて頂き、野田剛司次期副幹事の閉会の辞を以て分科会は無事終了致しました。IACの顧問の先生方、RACの次期地区役員・会長幹事の皆様、ロータリアンの皆様、参加者全員の方々のご協力に感謝申し上げます。

今までバラバラだった地区内の新世代のロータリーファミリーを、上手く結び付けていくのも、地区新世代奉仕委員会の役目であろうと強く認識しております。いずれも地区の立場だけではなく、82RCの新世代奉仕活動の抱える課題について地区全体で共有し、戦略的に中長期計画に沿って、課題解決に繋げていければと考えております。今後とも、地区新世代奉仕関連の委員会活動に、ご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。





地区協議会分科会 プログラム －第7分科会－

〈ロータリー財団関連部門〉

会場:【2F】金の間

テーマ:未来の夢 計画

リーダー

次期地区ロータリー財団委員長

深谷 友尋

アドバイザー

パストガバナー/ロータリー財団地域コーディネーター

江崎 柳節

アドバイザー

パストガバナー/ロータリー財団地域コーディネーター補佐

田嶋 好博

アシスタントリーダー

次期ガバナー補佐

松井 昭信

司会

次期地区副幹事

後藤 章信

1 開会の辞及び特別出席者紹介

次期地区ロータリー財団副委員長

矢形 修己

2 リーダー挨拶

次期地区ロータリー財団委員長

深谷 友尋

財団管理の責務と重要性について（授与と受諾、覚書の確認）

3 Future Vision 世界展開をひかえて

パストガバナー /
ロータリー財団地域コーディネーター

江崎 柳節

4 アドバイザー挨拶

パストガバナー /
ロータリー財団地域コーディネーター補佐

田嶋 好博

5 資金推進について

アシスタントリーダー
次期資金推進委員長

朱宮 新治

6 地区補助金について

アシスタントリーダー
次期補助金委員長

松尾 憲二郎

アシスタントリーダー

石田 正城

アシスタントリーダー

篠橋 美久

アシスタントリーダー

鈴木 文勝

7 職業研修チーム（VTT）について

アシスタントリーダー
次期職業研修チーム委員長

満田 稔

8 奨学基金・学友について

アシスタントリーダー
次期奨学基金・学友委員長

増田 盛英

9 ポリオ活動について

アシスタントリーダー
次期ポリオプラス委員長

増田 盛英

10 講評

アシスタントリーダー
次期ガバナー補佐

松井 昭信

11 閉会の辞

次期地区副幹事





第7分科会報告

ロータリー財団委員長 深谷 友尋

ロータリー財団委員会はテーマを未来の夢計画と題して82クラブ財団委員会委員長とあと1年後に全世界が一つのプログラムとしてスタートする事の意義や主旨について研鑽を深めました。

江崎柳節次期 RRFC.PDG より Future Vision の世界展開をひかえてと題して、今後の財団の方向性について御指導を受けた。

その中で財団が自分たちのものであることを説かれ、更に活用することによるクラブの活性化につながることを力説されました。

次に田嶋好博 ARRFC.PDG より Peace Through Service について奉仕を通じて平和の活動が大切で有り、概念的な思想から一步前に踏み出すことの大切さについてご指導をいただきました。又、財団は寄付を集めることを目的にして居るが、その資金のより良い活用を考えることが必要と説かれた。

これより財団委員会のそれぞれの委員会委員長より今後の財団の方向性や現状の活動報告を通して、財団活動の重要性と財団はクラブのもので有ることを学んだ。

はじめに補助金を使用する場合の注意点としてMOU（クラブ覚書）の締結と必要性について財団委員長より説明した。

資金推進委員会より年次寄付の現況について報告され、今年度も寄付ゼロクラブ達成を御願いされた。

年次寄付小委員会では次期国際ロータリー会長田中作次 様からのメッセージでもあります、ロータリーカード加入の意義と加入状況について、実際の使用方法の例をあげられて一層の加入をお願いした。（小銭

代わりにコンビニ、ETC、クラブ活動や親睦会費等）

地区補助金委員会から次年度補助金申請状況と審査会について説明した。

補助金の取り扱いについての注意点を説明した。又、補助金は公金であるので支出については細心の注意をお願いした。特に証拠書類等の5ヶ年間の保存の必要性についてお願いした。

グローバル補助金委員会では、補助金の違いなど使用の違いを説明、クラブの社会奉仕、国際奉仕の活動への手伝いなど、どんな相談にも応じる用意があると説明、財団はクラブのもので有ることを力説した。

本年度の地区活動職業研修チームより申請の注意点や事前準備について説明、間もなくオーストラリアブリスベンへ医療研修生を派遣することも合わせて報告した。

奨学生委員会はすでに2名の奨学生を申請する事が決まり、手続き中であり、5月27日開催の学友会総会について報告があった。

ボリオ委員会では今年度計画したインドへのボリオワクチン投与の派遣する事業を時間的な制約により中止したむねの報告があった。インドは開催日の調整が困難であり、次年度は時間的余裕を持って考えたい。

平和フェロー委員会より次年度は派遣する奨学生募集をお願いした。

最後に松井 昭担当ガバナー補佐より、本日の研修の意義を充分理解され、クラブの活性化にお役だていただきたいと講評をいただき、意義ある分科会を閉会いたしました。





地区協議会分科会 プログラム －第8分科会－

〈米山奨学関連部門〉

会場:【1F】シャンポール

テーマ:奉仕を通じて平和を、米山奨学事業は日本を、世界を支える力

| | | |
|--------|--------------------------|---------|
| リーダー | 次期米山奨学委員長 | 中 島 実 |
| アドバイザー | パストガバナー/財ロータリー米山記念奨学会元理事 | 加 納 泉 |
| アドバイザー | パストガバナー/財ロータリー米山記念奨学会理事 | 福 田 清 成 |
| 司会 | 次期地区副幹事 | 安 藤 東 元 |

| | | |
|---|-------------------------------|---------|
| 1 開会の辞及び特別出席者紹介 | 次期地区副幹事 | 安 藤 東 元 |
| 2 リーダー挨拶 米山奨学事業について 地区の役割とクラブ委員長の役割 | リーダー 次期米山奨学委員長 | 中 島 実 |
| 3 アドバイザー挨拶 | (財)ロータリー米山記念奨学会元理事 | 加 納 泉 |
| | (財)ロータリー米山記念奨学会理事 | 福 田 清 成 |
| 4 次期ガバナー補佐挨拶 | アシスタントリーダー 次期ガバナー補佐 | 井 上 雅 之 |
| 5 奨学生選考について | アシスタントリーダー 次期米山奨学副委員長 | 伊 藤 敦 夫 |
| 6 奨学金寄付について | アシスタントリーダー 次期米山奨学副委員長 | 杉 浦 正 典 |
| 7 奨学生・学友について | アシスタントリーダー 次期米山奨学副委員長 | 金 田 英 和 |
| 8 質疑応答・意見交換 | 特別顧問(元委員長) | 大 西 弘 高 |
| 9 元米山奨学生の卓話 | 次期米山奨学委員会委員 (奨学生・学友担当小委員長) | 鮑 尔 吉 德 |
| 10 アドバイザー講評 | (財)ロータリー米山記念奨学会理事 | 福 田 清 成 |
| 11 閉会の辞 | 次期地区副幹事 | 安 藤 東 元 |





第8分科会報告

第8分科会リーダー 中島 実

“奉仕を通じて平和を、米山奨学事業は日本を、世界を支える力”のテーマのもと、アドバイザーとして福田清成理事、加納泉元理事、井上雅之次期ガバナー補佐、安藤東元副幹事をお迎えして、下記についてクラブ委員長の皆様に説明を行いました。

【1】米山記念奨学金の現況

ロータリー米山記念奨学会は、全国ロータリアンの寄付金を財源に、日本の大学・大学院をはじめとする高等教育機関で学ぶ外国人留学生に対して奨学金を支給しています。ロータリーの理想とする国際理解と相互理解に努め、国際親善と交流を深めるために、優秀な留学生を支援し、世界平和の創造と維持に貢献することを目的としています。

国内全クラブの共同事業をして奨学生を採用して以来、世界119カ国からの17,000人に及ぶ外国人留学生を支援して、事業規模と採用数において、日本最大の民間奨学団体となっています。

【2】クラブ米山奨学委員長の役割

1. 米山奨学事業の理解促進

- (1) 地区協議会の米山部門会に出席し、米山記念奨学事業について修得する
地区主催の米山関係行事に参加し奨学生との交流につとめ、事業の意義と感想を自分の言葉で語れるようにする。
- (2) クラブ内の米山関係プログラムを企画する
会員の事業への理解を促すため、米山月間（10月）などに、関係プログラムを企画する。

米山関係プログラムの例

- a. クラブ米山記念奨学委員長、奨学生・学友（元米山記念奨学生）による卓話
- b. 奨学生や学友との懇親会など
- c. 巢立った奨学生の活躍を収集して広報する（例）



週報等での紹介

クラブで世話をした奨学生のリストを元に、彼らに連絡を取り交流を促進

※学友リストは奨学会から提供しますのでお問い合わせください。

広報活動のための主な活用ツール

- ① 米山記念奨学会DVDシリーズ（事業紹介DVD／学友版DVD）、その他イベントDVD
- ② ロータリー米山記念奨学事業「豆辞典」（ポイントあり）
- ③ 『ロータリーの友』よねやまだより（毎月、横組みに2ページ掲載）
- ④ 「米山学友の群像」

2. 寄付増進

毎月、地区米山記念奨学会委員会から送付される寄付金明細表で寄付金動向を把握し、寄付額が前年度を下回らないよう努めてください。寄付累計が表彰に近い方へアドバイスしたり、特別寄付・創立記念寄付あるいは米山ランチやボックス等を企画したりして、寄付増進を図る独自のアイデアで工夫してください。

3. 奨学生・学友との交流促進と広報

- (1) 世話クラブでは奨学生を受け入れる前に、世話クラブの意義と役割を周知徹底し、奨学生と会員の交流が深められるよう努め、クラブ全体で奨学生を受け入れてください。
- (2) 過去に世話をした学友の活躍ぶりをカウンセラーと共に情報収集し、広報してください。
- (3) 世話クラブになつていないクラブでは、奨学生や学友をクラブに招いたり、広報用ビデオを利用したりして、奨学事業の意義を具体的に実感できる機会を設けてください。



地区協議会分科会 プログラム －第9分科会－

〈研修部門〉

会場:【2F】天守の間(北)

テーマ:入りては学び、出でては奉仕

| | | |
|------------|-----------------|--------|
| リーダー | パストガバナー | 石川 和 昌 |
| アドバイザー | パストガバナー | 盛田 和 昭 |
| アシスタントリーダー | 次期ガバナー補佐 | 服部 孝 根 |
| アシスタントリーダー | 次期研修委員長 | 関口 宗 男 |
| アシスタントリーダー | 次期危機管理委員長 | 高山 光 雄 |
| アシスタントリーダー | 2013～2014年度地区幹事 | 柳原 勝 俊 |
| アシスタントリーダー | 次期研修副委員長 | 成田 洋 之 |
| アシスタントリーダー | 次期研修副委員長 | 小川 宏 嗣 |
| アシスタントリーダー | 次期研修副委員長 | 五藤 隆 夫 |
| アシスタントリーダー | 次期研修副委員長 | 下郷 卓 弥 |
| アシスタントリーダー | 次期地区副幹事 | 本田 伸太郎 |
| 司会 | 次期研修副委員長 | 津川 聖 子 |

| | | |
|------------------------------------|-------------------|-------|
| 1 開会の辞及び特別出席者紹介 | 次期研修副委員長 | 津川 聖子 |
| 2 趣旨説明 | 次期研修委員長 | 関口宗男 |
| 3 アドバイザー挨拶 | パストガバナー | 盛田和昭 |
| 4 ワークショップ 「各クラブにおける研修の取り組みについて」 | 次期研修委員 | |
| 5 リーダー基調講演及び講評 | パストガバナー /次期研修リーダー | 石川和昌 |
| 6 閉会の辞 | 次期地区副幹事 | 本田伸太郎 |





第9分科会報告

研修委員長 関口 宗男

研修部門である第9分科会は天守の間（北）にて次期会長エレクト・次期副幹事・次期ロータリー情報委員長・次期ロータリー研修委員長など193名、次期地区スタッフ33名、総勢226名の参集で開催されました。

テーマ「入っては学び、出でては奉仕」のもと、司会の津川次期研修副委員長による開会の辞及び特別出席者の紹介後、関口次期研修委員長が第9分科会の式次第と趣旨説明、中でもワークショップはR L I方式で行う旨の伝達がされました。

R L I（ロータリー・リーダーシップ研究会）とは1992年、米国で発案され推奨されているもので、話を聞くだけでなく、見て話して論議すると60-80%心に残るというデータのもと、ロータリアンの指導力開発を目的とした「R I他地区合同プログラム」であります。R L Iは講演や講義の形式は避けて、一般的には主役は対象ロータリアンであり、1グループ10数名がコの字型になり、D L（ディスカッション・リーダー）がファシリテーター（進行役）を務め、参加者相互が発言する対話式を基本とした研修です。

次いで、ロータリー歴57年の盛田和昭P D Gから次期アドバイザー挨拶がされました。ロータリーは創立以来107年を経過するも今日繁栄を築いている。これは全ての役職が一年で交代し現役主義である事に由来する。しかし創立時の「1業1会員制」と「例会出

席強制」の原則を破ったため、クラブ数、会員数が減少している。若いロータリアンの考えを地区協議会の場で有効に議論活用して欲しい旨話されました。

次にワークショップに入り、テーマ「各クラブにおける研修の取り組みについて」でR L I方式で行われました。参加者がコの字型の10テーブルに分かれ、次期研修委員がD Lとなり、相互で活発な討議がなされました。主要な中味は①自己紹介（名前、クラブ名、クラブ会員数）、②R L Iとは（歴史、手法、意義）、③各クラブ新会員に対する研修の有無（講師、研修方法、内容、テキストの有無）、④各クラブ一般会員に対しての研修の有無（新会員と同じ）、⑤研修用テキストの有無（有れば地区研修委員会に1冊寄贈のお願い）等でした。

次いで、次期研修リーダーの石川和昌P D Gよりリーダー基調講演及び講評がありました。会長は一年交代であるので自分の思う存分会長方針を徹底して欲しい。My Yearを大事にし、時には前年度の否定も可。R L I方式をそれぞれのクラブ運営に生かして欲しい。分からることは分からぬで良いが、それ以上に勉強して論議し自分の見識となることが大切などと話されました。

最後に、本田伸太郎次期地区副幹事の閉会の辞で終了しました。





ガバナー講評



国際ロータリー第2760地区
ガバナー

松前 憲典

今日の地区協議会で第1分科会から第9分科会まで熱心に討議されました、不肖私ずっと回らせていただきましたが、どの分科会も本当に熱心に討議されました、感服いたしております。

私がサンディエゴへ研修を受けに行きましたとき、RLI方式でこの字型に座つていろいろ質疑応答されて審議される形式が第9分科会で実施されておりました。2760地区はこの方が浸透しつつありますので、これから一生懸命ロータリーをあの方で勉強していくいただきたいと思います。私たちもあそこで朝8時から5時まで、「はい、はい、はい」と質問が飛んできまして、質問に答えて、答えられないときは家へ帰って勉強したこともありますが、どうか今後もひとつご勉強願いたいと思います。

各分科会全部のことを申し上げるのが本筋でございますが、どの分科会も非常に熱心に討議されておりましたので、本当にすばらしいと思っております。心から敬意を表します。

最近、米山奨学生の、発展した国と貧困に関する論文をいただきましたので読ませていただきましたが、ネパールは、電気も十分にない、食糧も余りない、厳しいところであるということをしみじみ感じております。

それから、識字率についても今日検討されておりましたが、何分世界には70億人の人口がありまして、10億人の方が読み書きができない人がいるんですね。

その10億人の中の4分の3、75%がアジア、アフリカだと言われております。この次は識字率の向上にロータリーは力を注ぐことになっていくのではないかと言われております。今後ともこの点よろしくお願ひいたします。

もう一つは、先ほど回っておりました質問がございました。いつも申し上げてますが、ロータリー財団と米山奨学会が日本ではすばらしい財団になっておりまして、その使途について各クラブにおいてはよくわからないので、もう少し説明してほしいと質問がありました。委員長にもお願いしてきましたが、各クラブからご質問があるところは、どうか卓話に来ていただいてご説明をしてくださるよう、明快な説明をしてくださいますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

いろいろ全般についてお話しさせていただきまして、講評になるかどうかちょっと問題でございますが、すばらしい我が2760地区をますます発展させていきたいと思います。今後ともよろしくお願ひして、御礼のご挨拶といたします。

ありがとうございました。



受付風景



本会議



総合司会



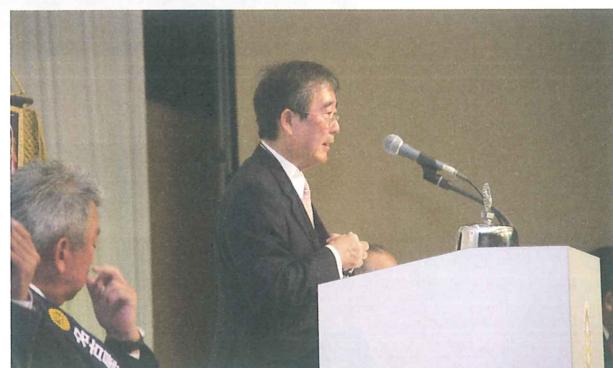
ロータリーソング



登 壇 者



特 別 出 席 者





エンブレム交換



ガバナー旗交換

花束贈呈



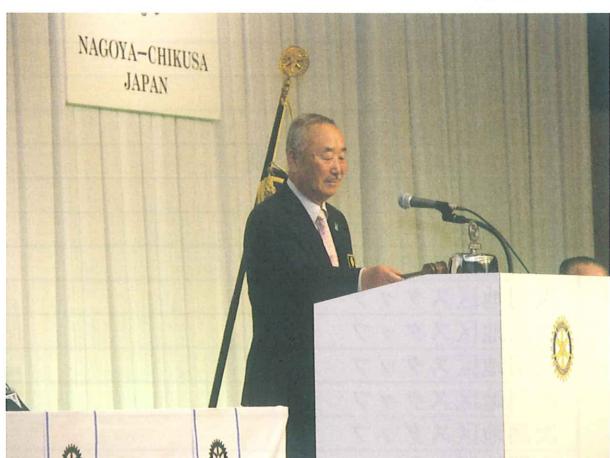
ガバナーへ



地区幹事へ



お疲れ様でした



点鐘

地区協議会特別出席者名簿

(敬称略)

| 役職名 | 氏名 | クラブ名 |
|--------------------|------|-------|
| ガバナー | 松前憲典 | 一宮中央 |
| ガバナーエレクト | 千田毅 | 名古屋東 |
| ガバナーノミニー | 田中正規 | 西尾 |
| パストガバナー | 福田浩三 | 名古屋空港 |
| パストガバナー | 盛田和昭 | 名古屋 |
| パストガバナー | 加納泉 | 名古屋中 |
| パストガバナー | 神戸政治 | あま |
| パストガバナー 次期地区研修リーダー | 石川和昌 | 豊橋 |
| パストガバナー | 松本宏 | 半田 |
| パストガバナー | 内藤明人 | 名古屋西 |
| パストガバナー | 福田清成 | 江南 |
| パストガバナー 次期地区拡大委員長 | 豊島徳三 | 一宮北 |
| パストガバナー | 大島宏彦 | 名古屋 |
| パストガバナー | 斎藤直美 | 豊田 |
| パストガバナー | 江崎柳節 | 小牧 |
| パストガバナー | 片山主水 | 名古屋東南 |
| パストガバナー | 田嶋好博 | 名古屋北 |

| 役職名 | 氏名 | クラブ名 |
|------------------------|-------|-------|
| 南尾張分区次期ガバナー補佐 | 杉浦三郎 | 半田 |
| 西尾張分区次期ガバナー補佐 | 服部孝根 | 稲沢 |
| 東尾張分区次期ガバナー補佐 | 小原久和 | 名古屋城北 |
| 西名古屋分区次期ガバナー補佐 | 大橋昭治 | 名古屋名駅 |
| 東名古屋分区次期ガバナー補佐 | 井上雅之 | 名古屋昭和 |
| 東三河分区次期ガバナー補佐 | 松井昭 | 田原 |
| 西三河中分区次期ガバナー補佐 | 本間毅 | 岡崎南 |
| 西三河分区次期ガバナー補佐 | 加藤良邦 | 碧南 |
| 2011～2012年度地区幹事 | 長谷川正己 | 一宮中央 |
| 2012～2013年度地区幹事 | 柳澤幸輝 | 名古屋東 |
| 2013～2014年度地区幹事 | 榎原勝俊 | 西尾 |
| 次期筆頭地区副幹事 次期被災高校生支援委員長 | 本多満 | 名古屋東 |
| 次期地区副幹事 | 深川白 | 名古屋東 |
| 次期地区副幹事 | 本田伸太郎 | 名古屋東 |
| 次期地区副幹事 | 奥村哲司 | 名古屋東 |
| 次期地区副幹事 | 浜洋一 | 名古屋東 |
| 次期地区副幹事 | 安藤東元 | 名古屋東 |
| 次期地区副幹事 | 後藤章信 | 名古屋東 |
| 次期地区副幹事 | 柏木功 | 名古屋東 |
| 次期地区副幹事 | 野田剛司 | 名古屋東 |
| 次期地区副幹事 | 渡邊正教 | 名古屋東 |
| 次期地区副幹事 | 多和田武 | 名古屋東 |
| 次期地区会計長 | 末岡照章 | 名古屋東 |
| ガバナーエレクト事務局長 | 新実宣英 | 名古屋東 |
| 次期地区スタッフ | 石田侑嗣 | 名古屋東 |
| 次期地区スタッフ | 佐治勝 | 名古屋東 |
| 次期地区スタッフ | 加藤義彦 | 名古屋東 |
| 次期地区スタッフ | 岡本光生 | 名古屋東 |
| 次期地区スタッフ | 國府谷俊盛 | 名古屋東 |
| 次期地区スタッフ | 梅村昌寛 | 名古屋東 |
| 次期地区スタッフ | 笛野暢宏 | 名古屋東 |
| 次期地区スタッフ | 岩口孝一 | 名古屋東 |
| 次期地区スタッフ | 池戸史英 | 名古屋東 |
| 次期地区スタッフ | 馬場善志雄 | 名古屋東 |

地区協議会特別出席者名簿

(敬称略)

| 役職名 | 氏名 | クラブ名 |
|---------------------|--------|--------|
| 次期会員増強リーダー | 伊藤 秀雄 | 名古屋東南 |
| 次期財務委員長 | 岩瀬 淳一郎 | 豊川 |
| 次期ロータリー未来委員長 | 宮崎 薫 | 名古屋東南 |
| 次期東日本大震災プロジェクト委員長 | 鈴木 元弘 | 豊田 |
| 次期クラブ奉仕委員長 | 重富 亮 | 名古屋守山 |
| 次期会員増強委員長 | 小山 慎介 | 名古屋名南 |
| 次期ＩＴ委員長 | 尾本 和弘 | 名古屋東南 |
| 次期広報・雑誌委員長 | 稻 伸夫 | 豊田西 |
| ロータリーの友地区委員 | 河村 嘉男 | 小牧 |
| 次期職業奉仕委員長 | 村井 總一郎 | 豊橋 |
| 次期職業奉仕副委員長 | 匹田 雅久 | 豊橋北 |
| 次期職業奉仕副委員長 | 早川 和男 | 名古屋東山 |
| 現職業奉仕委員長 | 國友 昌大 | 名古屋中 |
| 次期地区社会奉仕委員長 | 長瀬 輝代之 | 名古屋守山 |
| 次期地区RCC委員長 | 永谷 文人 | 安城 |
| 次期地区環境保全委員長 | 筒井 信之 | 名古屋南 |
| 次期国際奉仕委員長 | 佐藤 文昭 | 愛知長久手 |
| 次期識字率向上委員長 | 鈴木 吉男 | 津島 |
| 次期識字率向上副委員長 | 酒井 法丈 | 豊田 |
| 次期国際奉仕副委員長 | 杉浦 敏夫 | 豊田 |
| 次期新世代奉仕委員長 | 秋田 敬治 | 豊田 |
| 次期インタークト委員長 | 川村 荒治 | 豊橋 |
| 次期ローターアクト委員長 | 寺本 善雄 | 名古屋みなと |
| 次期ＲＹＬＡ委員長 | 谷山 芳和 | 豊田西 |
| 次期青少年交換委員長 | 岡田 雅隆 | 犬山 |
| R.I.日本青少年交換委員会委員 | 黒田 勝基 | 高浜 |
| 次期地区ロータリー財団委員長 | 深谷 友尋 | 名古屋みなと |
| 次期地区ロータリー財団副委員長 | 矢形 修己 | 名古屋北 |
| 次期資金推進委員長 | 朱宮 新治 | 犬山 |
| 次期年次寄付小委員長 | 中林 正人 | 名古屋空港 |
| 次期恒久基金・大口寄付小委員長 | 伊奈 一郎 | 常滑 |
| 次期補助金委員長 | 松尾 憲二郎 | 小牧 |
| 次期新地区補助金小委員長 | 石田 正城 | 名古屋北 |
| 次期グローバル補助金小委員長 | 篠橋 美久 | 名古屋中 |
| 次期職業研修チーム委員長 | 鈴木 文勝 | 小牧 |
| 次期奨学基金・学友委員長 | 満田 稔 | 豊橋東 |
| 次期ポリオプラス委員長 | 増田 盛英 | 名古屋瑞穂 |
| 次期ロータリー平和フェローシップ委員長 | 石川 昌和 | 豊橋南 |
| 次期ロータリー財団監査委員長 | 川島 誠 | 名古屋西 |
| 次期米山奨学委員長 | 中島 実 | 名古屋北 |
| 特別顧問（元委員長） | 大西 弘高 | 名古屋東南 |
| 次期米山奨学副委員長 | 伊藤 敦夫 | 豊田中 |
| 次期米山奨学副委員長 | 杉浦 正典 | 豊田 |
| 次期米山奨学副委員長 | 金田 英和 | 名古屋東山 |
| 次期米山奨学委員 | 鮑爾 吉徳 | 名古屋栄 |
| 次期米山奨学委員 | 加藤 宜之 | 名古屋名南 |
| 次期研修委員長 | 関口 宗男 | 名古屋みなと |
| 次期危機管理委員長 | 高山 光雄 | 名古屋空港 |
| 次期研修副委員長 | 津川 聖子 | 名古屋名東 |
| 次期研修副委員長 | 成田 洋之 | 名古屋みなと |
| 次期研修副委員長 | 小川 宏嗣 | 犬山 |
| 次期研修副委員長 | 五藤 隆夫 | 小牧 |
| 次期研修副委員長 | 下郷 卓弥 | 名古屋東南 |

地区協議会次期地区委員出席者名簿

☆ クラブ役員兼務 ○ 副委員長（敬称略）

【第1分科会】

| | | |
|-----------------|----------|----------|
| 研修委員会 | ☆ 太田 達夫 | 名古屋城北 |
| 地区財務委員会 | ○ 水野 吉紹 | 名古屋北 |
| 拡大委員会 | 杉浦 壽康 | 岡崎 |
| | 斎藤慎一郎 | 名古屋守山 |
| ロータリー未来委員会 | ○ 近藤 雄亮 | 名古屋瑞穂 |
| | 本多 啓一 | 岡崎 |
| | ☆ 大野 良之 | 尾張旭 |
| 広報・雑誌委員会 | ☆ 堀尾 明史 | 尾張中央 |
| 社会奉仕委員会 | ☆ 水越 弥生 | 刈谷 |
| RCC委員会 | ☆ 社本 太郎 | 春日井 |
| 環境保全委員会 | ☆ 鵜飼 昌治 | 名古屋守山 |
| 青少年交換委員会 | ☆○ 野村紀代彦 | 刈谷 |
| | ☆ 宮下 恵子 | 中部名古屋みらい |
| 東日本大震災プロジェクト委員会 | ○ 高須 洋志 | 名古屋瑞穂 |
| | 山下 正裕 | 名古屋守山 |

【第2分科会】

| | | |
|------------|----------|--------|
| 研修委員会 | ☆ 加藤 真治 | 刈谷 |
| 拡大委員会 | 八神 基 | 名古屋米 |
| ロータリー未来委員会 | ☆ 加藤 知成 | 東知多 |
| 会員増強委員会 | ○ 水野 裕善 | 名古屋丸の内 |
| | ☆○ 津坂 守英 | 名古屋城北 |
| | 加藤 陽一 | 瀬戸 |
| | 澤田 文雄 | 豊田東 |
| | 酒井 良輔 | 半田 |
| | 塚本 嶋男 | 稻沢 |
| | 津田 鎮輔 | 刈谷 |
| | 日置 敦康 | 名古屋栄 |
| | 深津 幸雄 | 岡崎東 |
| | 楳野 智之 | 名古屋和合 |
| | 光岡 新吾 | 豊田 |
| | 山崎 克弥 | 西尾 |
| 広報・雑誌委員会 | ☆ 岡田 邦義 | 岡崎 |
| | 松崎美都子 | 名古屋守山 |
| | 山川 克彦 | 名古屋みなと |
| | 杉浦 令淑 | 名古屋大須 |
| | 糸井 学 | 名古屋みなと |
| | 酒井 兼利 | 稻沢 |
| | 伊東 聖史 | 小牧 |
| | 中條 元司 | 瀬戸 |
| | ☆ 池戸 史英 | 名古屋東 |
| | 三浦 裕司 | 豊橋 |
| | ☆ 原田 隆司 | 豊田中 |
| クラブ奉仕委員会 | ○ 岡田 吉生 | 岡崎城南 |
| | 早川 八郎 | 春日井 |
| | 鈴木 正輝 | 豊田三好 |
| | 才本 清継 | 名古屋みなと |

職業奉仕委員会

| | | |
|------------|---------|----|
| 環境保全委員会 | ☆ 名和 千博 | 小牧 |
| ローターアクト委員会 | ☆ 南部 淳 | 岡崎 |

【第3分科会】

| | | |
|---------|---------|---------|
| 会員増強委員 | ☆ 谷村 泰裕 | 豊橋ゴールデン |
| IT委員会 | ☆ 堀口 久 | 名古屋葵 |
| 職業奉仕委員会 | 伊東 良夫 | 半田 |
| | 丹羽 司一 | 愛知長久手 |
| | 鋤柄 喜彦 | 名古屋東南 |
| | ☆ 渡辺 健壱 | 名古屋みなと |
| | 紅林 友昭 | 豊橋 |
| | 大河内俊彦 | 西尾 |

【第4分科会】

| | | |
|----------|---------|-------|
| 研修委員会 | ☆ 瀧本 守 | 尾張中央 |
| クラブ奉仕委員会 | 酒井 基裕 | 蒲郡 |
| 社会奉仕委員会 | ○ 西脇 良一 | 名古屋名北 |
| | 亀井 敏勝 | 名古屋和合 |
| RCC委員会 | 福井 敬 | 豊橋 |
| | ☆ 山元 康裕 | 名古屋東山 |
| 環境保全委員会 | ○ 米山 和浩 | 豊田 |
| | 高橋 豊彦 | 豊橋 |
| | 大矢 裕慈 | 名古屋中 |
| | 杉浦 文雄 | 刈谷 |
| | ☆ 阿部 光廣 | 三河安城 |
| | 山脇 善典 | 豊川 |
| | 古澤 功三 | 豊橋北 |
| | 加納 昭巨 | 名古屋南 |

【第5分科会】

| | | |
|----------|----------|---------|
| RCC委員会 | ☆○ 杉田 和俊 | 豊橋ゴールデン |
| 国際奉仕委員会 | ☆ 鈴木 宏司 | 半田南 |
| | 村瀬 秀和 | 東海 |
| | 木村 樹生 | 名古屋南 |
| | 度会 尚志 | 豊川宝飯 |
| | 岡部 努 | 名古屋北 |
| 識字率向上委員会 | ○ 酒井 法丈 | 豊田 |
| | 堀江 英弥 | 名古屋大須 |
| | 神戸 邦夫 | 豊橋南 |

【第6分科会】

| | | |
|------------|----------|-----|
| 環境保全委員会 | ☆ 岩田 テル子 | 春日井 |
| インターラクト委員会 | ○ 奥田 清仁 | 豊田 |
| | ○ 鵜飼 正巳 | 稻沢 |
| | 佐藤 裕彦 | 豊橋 |
| | ☆ 大河内圭一 | 一宮北 |
| | 中杉 和雄 | 豊川 |

地区協議会次期地区委員出席者名簿

☆ クラブ役員兼務 ○ 副委員長 (敬称略)

| | | | | |
|--------------|----------|---------|---|--|
| ローターアクト委員会 | 日高 啓治 | 東知多 | 原野 勝至 加納 裕 小笠原 晓 内田泰潤徳 成田 徹 山田 典廣 ○ 岩崎 光紀 佐々木久直 ☆ 高田 和裕 山田 高行 ○ ミカエル カルマノ | 名古屋栄 名古屋瑞穂 名古屋中 一宮中央 三河安城 名古屋中 名古屋名駅 一宮 名古屋みなと 中部名古屋みらい 名古屋東 |
| | 北園 守生 | 名古屋空港 | | |
| | 山内 隆一 | 岡崎東 | | |
| | 林 左希也 | 名古屋 | | |
| | 鈴木 博文 | 岡崎南 | | |
| | ○ 中村 陽公 | 名古屋北 | | |
| | ○ 長尾 秀義 | 小牧 | | |
| | 杉田 洋 | 豊橋 | | |
| | 菱川 弘樹 | 一宮北 | | |
| | 西本 一幸 | 名古屋南 | | |
| RYLA委員会 | ☆ 玉置 政利 | 名古屋城北 | 【第8分科会】 米山奨学委員会 ☆ 佐藤 正延 山本 光人 ☆ 水野 憲司 野村 順雄 小栗 正章 山田 直樹 ☆ 田中 寛孝 中島 忠幸 中川 敦 山田 一仁 | 名古屋みなと |
| | 武田 正典 | 名古屋錦 | | 瀬戸守山 |
| | 鈴木 正敏 | 田原 | | 豊橋北 |
| | 花橋日出夫 | 名古屋和合 | | 一宮北 |
| | 田中 利幸 | 名古屋葵 | | 名古屋みなと |
| | ☆ 中田 典子 | 名古屋守山 | | 尾張旭 |
| | ○ 杉本 親保 | 東海 | | 瀬戸 |
| | 平尾 節子 | 瀬戸北 | | 豊川 |
| | 荒川 雅義 | 名古屋中 | | 新城 |
| | 平田 兼久 | 西尾 | | 知立 |
| 青少年交換委員会 | 伊藤 祐人 | 田原 | | 一宮 |
| | 遠藤 武夫 | 名古屋みなと | 【第9分科会】 研修委員会 ☆ 天野 正明 井上 穂 梅村 和伸 神谷 裕之 西村 忠郎 細井 英治 ☆ 森 榮 山名 敬一 | |
| | 森田 亨 | 半田 | | 稻沢 |
| | 加藤 辰己 | 一宮中央 | | |
| | ☆ 富田 正行 | 豊橋ゴールデン | | |
| | ☆ 岡本 光生 | 名古屋東 | | |
| | ○ 山本 雅久 | 豊橋ゴールデン | | |
| | 佐々木利政 | 豊橋 | | |
| | 高木 政義 | 名古屋大須 | | |
| | 國分 孝雄 | 名古屋和合 | | |
| 危機管理委員会 | 稻葉 徹 | 瑞穂 | クラブ奉仕委員会 職業奉仕委員会 ロータリー財団会計長 恒久基金・大口寄付小委員会 新地区補助金小委員会 グローバル補助金小委員会 地区大会企画委員会 11年度地区大会実行委員長 11年度地区大会幹事 12年度地区大会実行委員長 12年度地区大会幹事 | 一宮中央 |
| | ☆ 山内 登 | 尾西 | | |
| | ☆○ 川村 繁生 | 名古屋名南 | | |
| | 松田 茂治 | 西尾 | | |
| | ○ 久米 博明 | 刈谷 | | |
| | 桑山 卓也 | 名古屋和合 | | |
| | ○ 櫻井 繁 | 名古屋南 | | |
| | ○ 吉原 孝彦 | 刈谷 | | |
| | 上野 広 | 名古屋昭和 | | |
| | 有賀 健 | 岡崎 | | |
| グローバル補助金小委員会 | 服部 潤一 | 豊田西 | | |
| | ○ 中村 公彦 | 名古屋名東 | | |
| | ☆ 岩井 豊彦 | 一宮中央 | | |
| | 松石 奉之 | 半田 | | |
| | ☆ 渡邊 正数 | 名古屋東 | | |
| | 福田 哲三 | 名古屋和合 | | |
| | 稻葉 徹 | 瑞穂 | | |
| | ☆ 山内 登 | 尾西 | | |
| | ☆○ 川村 繁生 | 名古屋名南 | | |
| | 松田 茂治 | 西尾 | | |
| 職業研修チーム委員会 | ○ 久米 博明 | 刈谷 | クラブ奉仕委員会 職業奉仕委員会 ロータリー財団会計長 恒久基金・大口寄付小委員会 新地区補助金小委員会 グローバル補助金小委員会 奨学基金・学友委員会 東日本大震災プロジェクト委員会 地区大会企画委員会 11年度地区大会実行委員長 | 半田 |
| | 桑山 卓也 | 名古屋和合 | | |
| | ○ 櫻井 繁 | 名古屋南 | | |
| | ○ 吉原 孝彦 | 刈谷 | | |
| | 上野 広 | 名古屋昭和 | | |
| | 有賀 健 | 岡崎 | | |
| | 服部 潤一 | 豊田西 | | |
| | ○ 中村 公彦 | 名古屋名東 | | |
| | ☆ 岩井 豊彦 | 一宮中央 | | |
| | 松石 奉之 | 半田 | | |
| 職業研修チーム委員会 | ☆ 渡邊 正数 | 名古屋東 | | |
| | 福田 哲三 | 名古屋和合 | | |

出席義務者名簿

南尾張分区【7RC】

| 分科会 | 次期クラブ役職 | 半田 | 常滑 | 東海 | 東知多 | |
|-----|---|-------------------------|---------------|--------------------------------|---|-------------------------|
| 1 | 会長 副会長 幹事 会計 | 榎原 正治 川口 新平 杉原 修巳 | * | 水野 福三 関 一雄 清水 昭博 磯部 栄 | 森合 久春 中嶋 清重 坂野 公俊 大久保誠人 | 高津 忠男 水野 浩二 竹内 伸哉 |
| 2 | クラブ奉仕委員長 広報委員長 雑誌委員長 IT委員長 会員増強 | 榎原 明美 | | | 柴田 康仁 竹内 雅浩 | ☆ * 加藤 知成 山本さゆり |
| 3 | 職業奉仕委員長 | 前田 佳男 | | | | 藤澤 健夫 |
| 4 | 社会奉仕委員長 R C C 委員長 環境保全委員長 | 松本 順子 | 磯部 栄 | 早川 式彦 | 長坂 昭彦 | |
| 5 | 国際奉仕委員長 識字率向上委員長 | 平林 伸康 太田 竹司 山田 純 | 新井 富雅 | 久野せつお | 戸田 宏和 | |
| 6 | 新世代奉仕委員長 インタークト委員長 ロータークト委員長 R Y L A 委員長 青少年交換委員長 | ☆ 森田 亨 | 谷川 豊隆 | 間瀬 保英 | ☆ 戸田 宏和 矢野 晴彦 | |
| 7 | ロータリー財団委員長 | | | 佐藤 雅之 | 前田 吉昭 前田 吉昭 | |
| 8 | 米山奨学委員長 | | | 河合 良泰 | 大橋 正紀 | |
| 9 | 会長エレクト 副幹事 ロータリー情報委員長 ロータリー研修委員長 | ☆ 竹内 俊介 樋山 晃雄 | 村田 聰 富田 真規 | 辻 章 大林香瑞人 板倉 初嗣 増岡 達一 | 大橋 正紀 小笠原直樹 山本さゆり 村瀬 竜雄 村瀬 竜雄 | |

西尾張分区【9RC】

| 分科会 | 次期クラブ役職 | 一宮 | 津島 | 尾西 | 一宮北 |
|-----|---|----------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|-------------------------|
| 1 | 会長 副会長 幹事 会計 | 平谷 良樹 鎌田 芳彰 森島 勝美 廣瀬 雅美 | 篠田 廣 滝川 林一 稻垣 宏高 前田 昭生 | 平松 清美 安藤 巍 森 信一朗 武田 守正 | 森 正志 原田 敬生 瀧 義孝 |
| 2 | クラブ奉仕委員長 広報委員長 雑誌委員長 IT委員長 会員増強 | 酒井 孝 森 初男 大藪 浩志 | * | 山田 勝弘 加藤泰一郎 加藤泰一郎 | 吉田 民雄 犬飼万壽男 犬飼万壽男 |
| 3 | 職業奉仕委員長 | 青木 俊憲 | 浅井 彦治 | 不破恵一郎 | 山内 國雄 大森 克孝 |
| 4 | 社会奉仕委員長 R C C 委員長 環境保全委員長 | 伊藤 幸一 | 生田 達一 | 山内 幸夫 | 小澤 正明 |
| 5 | 国際奉仕委員長 識字率向上委員長 | 森 保彦 | 野々山勝也 | 大島 晋作 | 矢野 尚彦 |
| 6 | 新世代奉仕委員長 インタークト委員長 ロータークト委員長 R Y L A 委員長 青少年交換委員長 | 浅野 一 坂井田敏行 桑原 英寿 | 小林 啓子 | 犬飼万壽男 前田 正和 岩田 勝義 | 吉田 哲夫 大河内圭一 村瀬 圭吾 |
| 7 | ロータリー財団委員長 | 大森 輝英 | 岡本 康義 | ☆ 山内 登 | 角田 隆幸 |
| 8 | 米山奨学委員長 | 足立 誠 | 伊藤 哲朗 | 森 新 | ☆ 水野 憲司 |
| 9 | 会長エレクト 副幹事 ロータリー情報委員長 ロータリー研修委員長 | 船橋 正員 青山 佳裕 日野 正美 | 清水 裕之 | 前田 正和 加藤 千博 | 森 通保 片山 英孝 |

☆ 地区委員兼務 * クラブ内兼任 (敬称略)

| 半田南 | | 知多 | | 大府 | |
|-----|-------------------------|----------------|--|----------------|--|
| | 竹内 俊郎 都築 利全 榎原 肇 | 山口 清文 竹内 功成 | | 相羽 英人 野畠 道一 | |
| | 佐藤 隆史 | | | 笹田 栄治 杉江香代子 | |
| | | 竹内 慎治 岩崎 征宣 | | 木村 正嗣 渡辺 秀雄 | |
| | | 千賀 貴彦 | | | |
| | 都築 延男 | 安藤 究之 | | 寺田 諭 | |
| ☆ | 鈴木 宏司 | 早川 佳教 | | 久野 春雄 | |
| | | 永井 喜義 | | 門脇 武 神野 昌悦 | |
| | | 平松 典保 | | 横山 明巳 | |
| | | 中村 泰忠 | | 外園 茂 | |
| * | 岡戸 利直 大岩 信子 佐藤 隆史 | 鈴木 直幸 坂本 竹敏 | | 加藤 正俊 村瀬 和男 | |

| 稻沢 | | 赤堀 | | 名古屋清須 | | 尾張中央 | | 一宮中央 | |
|---------------------------------|--|----------------------------------|--|---|--------|----------------------------------|---|-------------------------|--|
| 児島 秀光 栗本 貢 後藤 啓行 服部 孝至 | | 真木 伸一 栗木 和夫 立松 絹久 岩島 裕芳 | | 池戸 賢治 田邊 辰彦 川西 利浩 鳥居 利一 | ☆ | 大野 東秀 赤堀 博宣 堀尾 明史 大野 真一 | | 坂田 義一 石原 稔久 伊藤恒二郎 | |
| 伊藤 彰 山田 典永 | | 武藤 正俊 田中 和之 木下 章吉 | | 和田 典之 後藤 稔 | * | 平岩 慎次 太田 吉宣 太田 吉宣 | | 大森 進 | |
| | | 堀江 承元 | | 三輪泰彦(代) | | 毛利 雅俊 | * | 大森 進 | |
| 三輪 卓生 | | 神田 康史 | | 辻 勇夫 | | 辻 光範 | | 加藤 恭章 | |
| 原 武史 | | 伊藤 正征 | | 後藤 鈴明 | ☆ | 瀧本 守 | | 森 俊一郎 | |
| | | 田中 正博 | | 星野 清久 | | 鈴木 雅貴 | | 石川 正弘 | |
| 横井 定 | | 中村 普一 | | 水野豊秋(代) | | 山本 正則 | | 永田 正 | |
| 足立三千夫 | | 篠田 正志 | | 梅田 慎也 | | 松尾 晋吉 | | 大塚 省治 田宮 均 山田 秀代 | |
| | | | | 守野 暢洋 | | | | | |
| 浅井 耕治 | | 横井 久雄 | | 鴨井 敏秋 | | 西村 利夫 | ☆ | 岩井 豊彦 | |
| 野々部昭男 | | 後藤 眞 | | 桜井 利夫 | * | 西村 利夫 | | 長橋 國和 | |
| 永井 伸治 | | 高山 敏 東海 広光 山田 幹夫 | | 江川 泰彦 河合幹雄(代) 河村竹次郎(代) 中村 禥(代) | ☆ * | 熊澤 勝則 平岩 慎次 沖野 满 | | 柴田 裕市 春木 和美 森 荘 | |
| 小島 洋一 | | | | | | | ☆ | | |

出席義務者名簿

東尾張分区 【11RC】

| 分科会 | 次期クラブ役職 | 瀬戸 | 犬山 | 江南 | 小牧 | 春日井 |
|-----|---|------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|--|---------------------------------------|
| 1 | 会長 副会長 幹事 会計 | 藤井 源成 牧 治 梶野 輝雄 | 井川 光雄 牧野 武彦 奥村 正幸 安田 宗平 | 安藤喜代司 堀尾 庄一 松井 智義 鈴木 健治 | * 飯田資浩⑧ 中村 明 東澤 悅雄 | 名畠 豊 社本 太郎 志水ひろみ 加知 康之 |
| 2 | クラブ奉仕委員長 広報委員長 雑誌委員長 I T 委員長 会員増強 | * 松村 晋也 松村 晋也 金谷 康正 澤田 賢成 | 田中進一郎 鶴田 学 住野龍之介 | 中村 耕司 岩田 静夫 | ☆ 名和 千博 * 山本邦夫(副) * 山本 邦夫 ☆ 伊東 聖史 | 加藤 茂 山田 治 山田 治 加藤久仁明 清水 熱 |
| 3 | 職業奉仕委員長 | 加藤 真言 | 田中 茂生 | 枚本 哲一 | 竹内 友康 | 近藤 太門 |
| 4 | 社会奉仕委員長 R C C 委員長 環境保全委員長 | 刑部 祐介 | 大庭 雅章 | 大池 武徳 | 小谷 達也 | 伊藤 純 |
| 5 | 国際奉仕委員長 識字率向上委員長 | 戸田 由久 酒井 和好 | 小川 嘉吉 稻垣 圭次 | 浅野 安郎 長瀬 晴義 | 小谷 達也 水野 聖仁 | 長谷川英輝 |
| 6 | 新世代奉仕委員長 インタークト委員長 ロータークト委員長 R Y L A 委員長 青少年交換委員長 | 井上 博 鈴木 光彦 | 福富 孝弘 | 長谷川優子 | * 橋本 晃暢 * 橋本 晃暢 * 橋本 晃暢 * 橋本 晃暢 | 峰 テル子 |
| 7 | ロータリー財団委員長 | 大竹 一義 | 高橋 秀治 | 早川 正輝 | * 水野 聖仁 | 松尾 隆徳 |
| 8 | 米山奖学委員長 | 亀井 勝 | 祖父江寿男 | 熊澤 治夫 | 飯田資浩(副) | 欠席 |
| 9 | 会長エレクト 副幹事 ロータリー情報委員長 ロータリー研修委員長 | 加藤唐三郎 加藤 恵子 寺田 悟 | 住野龍之介 宮岡 克年 | 庄田 元久 波多野智章 片平 博己 | * 落合 鐘一 落合鐘一(副) | 屋嘉比良夫 加藤久仁明 風岡 保広 |

西名古屋分区 【13RC】

| 分科会 | 次期クラブ役職 | 名古屋 | 名古屋西 | 名古屋南 | 名古屋みなと | 名古屋東南 |
|-----|---|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|-------------------------|---------------------------------|
| 1 | 会長 副会長 幹事 会計 | 大島 寅夫 浅野 純史 水野 一樹 那須 國宏 | 鵜飼 治昭 加藤 憲司 伊藤 彰彦 望月 宏秋 | 大岡 洋三 高橋 茂壽 斎藤 清治 服部 一郎 | 梅田 武久 加藤 茂春 橋本 修三 | 橋爪 務 水野 恒平 藁谷喜世志 近藤 信之 |
| 2 | クラブ奉仕委員長 広報委員長 雑誌委員長 I T 委員長 会員増強 | * 盛田 宏(副) 天野 源之 | * 加藤 憲司 加藤 渉 松山 吉之 | * 高橋 茂壽 多久田達宏 | | 熊谷多津旺 鬼頭 弘 |
| 3 | 職業奉仕委員長 | 杉浦 典男 | 片桐 清志 | 水谷 隆夫 | 柳澤 講次 | 牧野 弘明 |
| 4 | 社会奉仕委員長 R C C 委員長 環境保全委員長 | 正木 利和 | 梅本 薫 | 吉川 公章 | 渡辺 健壱 | 中島 美恵 |
| 5 | 国際奉仕委員長 識字率向上委員長 | 小鳴純二郎(代) | 水谷 博之 | 伊東万樹也 | 芹澤 謙一 | 杉浦 亘 |
| 6 | 新世代奉仕委員長 インタークト委員長 ロータークト委員長 R Y L A 委員長 青少年交換委員長 | 藤原 一朗 | 坂井 則夫 | 渡邊 將人 | 杉江 豊文 | 亦野 正雄 |
| 7 | ロータリー財団委員長 | 加藤 明宏 | 水野 隆二 | 丸山 和紀 | 水谷 隆 | 小玉 秀男 |
| 8 | 米山奖学委員長 | 平松潤一郎 | 荒川永太郎 | 篠田 美樹 | * 高田 和裕 | 野村 延彦 |
| 9 | 会長エレクト 副幹事 ロータリー情報委員長 ロータリー研修委員長 | 内藤 弘康 | 加藤 正和 | 北 登一 | 山下 哲男 | 鈴木 誠吉 |
| | | 天野信二(代) | 林 芳行 | 森口 雅文 | * 岩佐 信機 | 中村 規脩 |
| | | 山口 茂樹 | 神谷 竜也 | 岩田 崇祺 | 水谷 隆 | 玉木 大介 |
| | | 社本 光永 | 大竹 勇司 | 嶺木 昌行 | 小島 清路 | |

☆ 地区委員兼務 * クラブ内兼任 (敬称略)

| 尾張旭 | | 名古屋空港 | | 瀬戸北 | | 岩倉 | | 名古屋城北 | | 愛知長久手 | |
|-----|---|---------------------------------|---|------------------|---|--------------|---|-------|--|-------|--|
| ☆ | 井田 武憲 大野 良之 桜井 雅博 箕輪 良孝 | 串田 正克 稻吉 將秀 山北 秀和 柴田 弘 | 加藤 勝之 小澤 修 加藤 雅人 若杉 福雄 | 浅野 勝美 深石 公彦 | 穂積 良治 太田 達夫 服部 智謙 谷口 文男 | ☆ | 安田 茂樹 伊藤 広治 小谷 恒夫 林 正俊 | * | | | |
| * | 大野 良之 水野 幸彦 水野 幸彦 水野 幸彦 箕輪 良孝 | * 稲吉 將秀 川口 直也 | * 修 高阪 和広 荒井 康夫 高阪 和広 若杉 荣克 | 横井 裕志 井上 隆義 | 榎原 章夫 溝上 正貴 溝上 正貴 溝上 正貴 津坂 守英 | * ** ☆ | 伊藤 広治 吉田 漢一 吉田 漢一 小谷 恒夫 大島 昭夫 | * | | | |
| | 伊豆原浩二 | 川上義明(副) | 近藤 博資 | | 野中 一寿 | | 中川 清子 | | | | |
| | 福岡 健 | 田邊 雅彦 増田 勝 | 伊藤 保徳 伊藤 京子 | 宮田 浩明 | 岩田 佳之 岩田 佳之 | | 青山 和成 青山 和成 青山 和成 | | | | |
| | 飯田 幸雄 | | 波多野寿一 | 原 弘 | 舟橋 伸治 | | 日野 典子 日野 典子 | | | | |
| | 古橋エツ子 | 青山 忠 | 深谷 隆 | 大江 秀和 ☆ ☆* | 玉置 政利 玉置 政利 | | 林 正俊 林 正俊 林 正俊 林 正俊 林 正俊 | | | | |
| | 谷口 伸夫 | 中村 正人 | 山本 修 | 丹羽 規之 | 岩田 貴子 | | 白石政二郎 | | | | |
| | 森 和実 | | | 河村 金明 | 太田 光将 | | 大島 昭夫 | | | | |
| ☆ | 大野 良之 加藤 清久 西尾 輝久 | 内海 辰巳 原田 好展 | 青山 弘彦 梅村 邦雄 中野 昭雄 | 檜木 治幸 | 秦野 滋 奥村 勝彦 多田 通夫 | | 山田 文明 松原 正敏 山田 文明 山田 文明 | * | | | |

| 名古屋中 | | 名古屋瑞穂 | | 名古屋大須 | | 名古屋栄 | | 名古屋名南 | | 名古屋名駅 | | 名古屋丸の内 | | 中部名古屋みらい | |
|-------------------------|------------------------|--|---------|---------------------------------|-------------------------|-------|---------------------------------|---------------------------------|------|---------------------------------|--|--------|--|----------|--|
| 長瀬 傳郎 山口 真 杉浦 康晴 | 松波 恒彦 平野 好道 伊藤 豪 | 鬼頭 茂成 木村 光徳 岡村 隆徳 神野 邦利 | * | 石河 隆 川北 幸彌 大野 友三 藤城 鐵英 | 宮崎 良一 浅井 浩 杉山 隆秀 | * | 田口 望 田中 修 小林 泰敏 松浦 英一郎 | 藤田 守彦 吉田 光一 田島 陽介 磯部 徹 | ☆ | 伊藤 正樹 宮下 恵子 池谷 悟 鈴木 智子 | | | | | |
| 川島 悅雄 山田順一郎 山田順一郎 | 高木 勝 大嶽 達郎 | 田崎 雅三 近藤宏一郎 | | 羽田野道明 牧野 恒久 | 東山 直史 | * | 田中 修 斎藤 健治 斎藤 健治 | 西川 博 岩田 宏 岩田 久明 加藤 広次 | | コンティリ | | | | | |
| 清水 盛幸 | 馬場 將嘉 | 川口 小折 | | 坂口 純一 | 木下 福郎 | | 萱垣 建 | 堀江 俊通 | | 横田 敦史 | | | | | |
| 佐藤 友治 | 宗宮 信賢 | 丹下 富博 | | 梅津茂晴(副) | 森田敏二三 | | 高岡 浩 | | | | | | | | |
| 鳥山 敦生 | 岩田 修司 | 前田 隆久 | | 酒井 昌也 | 加藤 英敏 | | 鈴木卓也(代) | 大岩とよみ | | | | | | | |
| 吉田 治伸 | * | 岩田 修司 | 松本 哲朗 | 米田 敬 | 江村 雅夫 | | | 森田 正樹 | | | | | | | |
| 岡崎 亨 | 内田 久利 | 吉田 壽一 | | 服部 秋浩 | 鈴井 一博 | | 藤井 圓隆 | 藤野 正敏 | | | | | | | |
| 岩月 雅章 | * | 八木沢幹夫 | 渡辺觀永(副) | 古川 聰一 | 朝比美和子 | | 安藤 隆利 | 若原 正幸 | | 河合 太輔 | | | | | |
| 加藤 政巳 | 長坂 邦雄 | 山口 正孝 | 佐藤 健三 | ☆ | 川村 繁生 | 久田 勘鷗 | 渡邊 徹雄 | | 川口 豊 | | | | | | |
| 東 俊輝 | | 杉本 英夫 | 岩井 文男 | 三浦 和人 | 日比野三吉彦 | | 安江 英雄 | | | | | | | | |
| 坪井 進悟 堀江 陽平 | * | 泉 憲一 亀井 直人 長瀬憲八郎 長瀬憲八郎 森 恒夫⑧ | 木村 光徳 | 細井 土夫 上坂 寛文 福本 豊彦 | 白藤 憲雄 本多 利郎 伊藤 圭一 | | 西川 博 加藤 久明 岡田 守功 | 高橋 一吉 倉坪林太郎 | | | | | | | |

出席義務者名簿

東名古屋分区【11RC】

| 分科会 | 次期クラブ役職 | 名古屋北 | 名古屋東 | 名古屋守山 | 名古屋和合 | 名古屋名東 |
|-----|---|---------------------------------|--------------------------|---------------------------------|----------------------------------|----------------------------|
| 1 | 会長 副会長 幹事 会計 | 篠田 光浩 各務 修 杉浦 秀一 加藤 和彦 | 水野 茂生 大野 藏彦 伊藤 雄太 | 樋口 武人 木村 邦彦 鶴飼 昌治 滑 尚真 | 坪井 和義 丸山 弘昭 中村 有孝 吉田 正道 | * 米山 郁生 米山 郁生 野々部 英夫 |
| 2 | クラブ奉仕委員長 広報委員長 雑誌委員長 IT委員長 会員増強 | * 各務 修 古橋 茂 坂 英臣 | ☆ 池戸 史英 水野 勤 笹野 暢宏 | * 木村 邦彦 長谷 照一 木村 隆之 | 片桐 寛治 坂倉 弘康 坂倉 弘康 谷 喜久郎 | 平 民三 鈴木 勝博 鹿養 和良 |
| 3 | 職業奉仕委員長 | 亀井壯太郎 | ☆ 柏木 功 | 井上 誠 | 加藤 一郎 | 元松 茂 |
| 4 | 社会奉仕委員長 RCC委員長 環境保全委員長 | 相馬保之(副) | 林 雅史 今村 憲治 | 伊藤 陽介 太田 健一 | 二村 伝治 | 丸山 猛 |
| 5 | 国際奉仕委員長 識字率向上委員長 | 伊藤満琉(副) | 新実 宣英 | | 野崎 敏夫 | 鈴木 由二 |
| 6 | 新世代奉仕委員長 インタークト委員長 ロータークト委員長 RYLA委員長 青少年交換委員長 | * 榎 直樹 榎 直樹 | ☆ 岡本 光生 | 河本 力 ☆ 中田 典子 | 伊藤 尚貴 * 伊藤 尚貴 | 伊藤 嘉浩 近藤 郁子 中尾 僚宏 |
| 7 | ロータリー財団委員長 | 伴野 友昭 | ☆ 渡邊 正数 | 森藤左工門 | 服部 雅紀 | 藤野 直子 |
| 8 | 米山奨学委員長 | 青木 秀人 | ☆ 神谷 忠 | 佐藤 正延 | 横井 辰幸 | 梶間 誠 |
| 9 | 会長エレクト 副幹事 ロータリー情報委員長 ロータリー研修委員長 | 柴田 幸男 江崎 武人 | 小田 義彦 | 金森徳三郎 林 千尋 木村 隆之 木村 隆之 | 服部 滋 夏目 稔 | 齊藤 英夫 橋本 節生 中込 清周 |

東三河分区【13RC】

| 分科会 | 次期クラブ役職 | 豊橋 | 蒲郡 | 豊橋北 | 豊川 | 田原 |
|-----|---|------------------------------------|----------------------------------|-------------------------|------------------------------------|----------------------------------|
| 1 | 会長 副会長 幹事 会計 | 石黒 功 柳原 伸行 縣 政行 池田 至 | 本多 英夫 小田 康資 鈴木 康仁 山本 英夫 | 佐久間武美 牧野早希子 山内 有恒 | 木下 良夫 川合 悅藏 竹内 幹尚 森久 宏 | 山田 年清 森下 昭造 高崎 雄三 宮崎 三佳 |
| 2 | クラブ奉仕委員長 広報委員長 雑誌委員長 IT委員長 会員増強 | * 柳原 伸行 森木田 進 大林 康隆 石川 昌義 | 鈴木 康司 洞田 嘉明 村松 敏夫 | 木村 高章 高坂 泰弘 高畑 昌隆 | 樋口 俊寛 田中 勢子 大村 幸司 市川 荣二 | 仲谷 修 鈴木 雅 河辺 勝巳 |
| 3 | 職業奉仕委員長 | 青木 良浩 | 仲田 康宏 | 岡本 道子 | 牧 昌夫 | 大村 俊美 |
| 4 | 社会奉仕委員長 RCC委員長 環境保全委員長 | 内山 典弘 | 伊藤 將 | 松崎 和馬 | 池田 哲朗 | 大河 直樹 |
| 5 | 国際奉仕委員長 識字率向上委員長 | 西田 元彦 | 鈴木 仁志 | 下山 暢子 | 加藤 康章 | |
| 6 | 新世代奉仕委員長 インタークト委員長 ロータークト委員長 RYLA委員長 青少年交換委員長 | 兼子 直久 | 鈴木 仁志 | 石田 啓二 | 久具 信夫 | 佐野 朝海 |
| 7 | ロータリー財団委員長 | 小出 修弘 江崎 雅彰 近藤 真 | 大岩 敏郎 | 大石 佳史 | 清水 宏臣 | 樅山 丈二 |
| 8 | 米山奨学委員長 | 宮田 正人 | 三浦 雅弘 | 河合 芳光 | 陶山 嘉伸 | 塙本 純久 別所 淳二 |
| 9 | 会長エレクト 副幹事 ロータリー情報委員長 ロータリー研修委員長 | 松本 孝一 | 畠川 蕉雄 | 鈴木 行久 | ☆ 田中 寛孝 戸田 俊晴 渡辺 稔明 鈴木 荣一 | 柴田 登 河合 利則 八木 正光 |

☆ 地区委員兼務 * クラブ内兼任 (敬称略)

| 名古屋名北 | 名古屋千種 | 名古屋昭和 | 名古屋錦 | 名古屋東山 | 名古屋葵 |
|----------------------------------|-----------------------------------|--|--|----------------------------------|------------------------------------|
| 小關 敏光 尾關實津成 古川 康司 梶川 久雄 | * 谷口 優 佐久間良治 竹内 克豊 大口 弘和 | 横田 幸三 平岩 光二 小坂 達也 名倉 嗣治 | 佐藤 隆 近藤 謙治 石井 弘子 | 戸田 勝儀 佐藤 敏夫 | * 石原 彰久 阿部 恵彦 加藤 久雄 野村 尚史 |
| * 宇都木 寧 近藤 朗 近藤 朗 | 吉田 玄 池森 由幸 | * 大矢 英憲 巣山 公康 巣山 公康 巣山 公康 安藤鉢 太郎 | ☆ 中山 信義 三浦 俊彦 三浦 俊彦 三浦 俊彦 丹羽 繁 | * 酒井 清(副) 伊奈 正司 伊奈 正司 | 加納 伸康 |
| 足立陽一郎 | 鈴木 理之 | 松井 多弘 | 小野田 誓 | 太田 邦広 平下 三郎 山元 康裕 山元 康裕 | ☆ 堀口 久 小玉 忠雄 村上 政喜 |
| 加島 光(副) | 足立 一郎 小林 英毅 | 木下 実 荒川 章三 | | ☆ 小野田 誓 鈴木 宏治 | 藤田 義明 |
| 加藤敦子(副) | 鈴木 聖三 | 坂本 照明 | * | 田高 薫 田高 薫 田高 薫 | 谷口 善彦 |
| 加藤 昌之 | * 林 正路 林 正路 佐久間良治 | 伊藤 衛 伊藤 衛 伊藤 衛 伊藤 衛 | 宇山公一郎 宇山公一郎 | | |
| 横井 尚啓 | 伊藤 健文 | 柴田 義介 | 北村 隆子 | 渡辺 萬里 | 吉村 剛信 |
| 横田 徳久 | 和田 正敏 | 田中 邦幸 | * 北村 隆子 | 久野 洋一 | 前先正太郎 |
| * 宇都木 寧 梅村美知容 加藤 昌之 | * 萩原喜代子 渡邊 源市 池森 由幸 | 大矢 英憲 寺野 哲也 高柳 元 | 伊藤 康之 林 光夫 長谷川周義 | | 阿部 恵彦 |
| | | | | 小林三重子 | |

| 豊橋南 | 新城 | 渥美 | 奥三河 | 豊川宝飯 | 豊橋ゴールデン | 田原バシフィック | 豊橋東 |
|--------------------------------|-------------------------|----------------------|-------------------------|---------------------------------|-------------------------|---|----------------|
| 縣 保彦 磯村 博宣 西川 滋 中村 陽一 | 西郷 省吾 高柳 優治 内藤 恭嗣 | 川口 敏郎 朽名 誠 森 孝 | 東野 和敏 板橋 光男 金田 直孝 | 高桑 耐 水野 太一 大木 健市 岩瀬 靖宏 | 梅田 英樹 若林 正治 | 鈴木 照幸 杉田 鐘一 河合 成幸 岡田 博由 | 中村 成人 中鳩 秀樹 |
| * 磯村 博宣 林 良宣 | 加藤 栄志 | 井本 宏 | 関谷 徹 佐々木洋子 | 原田 邦夫 河本 圭史 | 高林 保夫 廣演 成一 | * 杉田 鐘一 河合 恵子 河合 恵子 河合 恵子 加藤 武紀 | 伴 和信 大塚 昌洋 |
| 榎原周造(代) | | 石本 健一 | 龜山 隆 | 夏目 雅康 | 牧野 政雄 | ＊ 谷村 泰裕 | 安田 直樹 |
| 田中 宏明 | | 黒川 公男 | | 杉浦 節子 | ＊ 谷村 泰裕 | 磯田 国男 | 木所 壮太 |
| 金田 賢也 | 村田 康助 | 間瀬 祐一 | | 堀田 卓嗣 | 真野 善和 | 立岩 俊幸 | 西 崇秀 |
| 山崎 和利 | | | | | | 斎藤 幹夫 | |
| 林 俊介 | | 木村 守雄 | 三崎 敦 | 大島 嗣雄 | ☆ 杉田 和俊 | 古田 勝美 | 柳瀬 秀昭 |
| 三浦 圭吾 | 原田 民夫 | 真野 博久 | | 藤原 規彰 | ☆ 富田 正行 | 大谷 弘隆 | 西脇 友伸 |
| 藤原 俊男 | | 青山 房生 | | 太田 稔 | 神谷 馨 | 尾原 健 | 渡邊 茂 |
| 足立 健一 | | 河合 光志 | | 小野 喜明 | 西郷 隆治 | 井上 健 | |
| 磯村 秀樹 大谷 育人 木下 治(代) | 浅野 強 | 森下 三嗣 宮川 隆司 | | 森下 武治 柴田 浩志 | 高畠 皓一 福沢 省吾 井上 穂穂 | 林 俊樹 森下 新一 河辺虎太郎 | 平野 正博 柴田 憲一 |

出席義務者名簿

西三河中分区【9RC】

| 分科会 | 次期クラブ役職 | 岡崎 | 豊田 | 岡崎南 | 豊田西 |
|-----|---|------------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| 1 | 会長 副会長 幹事 会計 | 荻須 文一 岩月 一郎 同前 仁史 | ☆ 河木 照雄 鈴木 元弘 杉浦 敏夫 | 藤田 正彦 岩瀬 宏隆 高橋 賢司 本間 英晴 | 寺田 壽孝 田端 謙 勅使河原孝 鈴村 正樹 |
| 2 | クラブ奉仕委員長 広報委員長 雑誌委員長 I T 委員長 会員増強 | ☆ 岩月 昭佳 岡田 邦義 深津 浩 ☆ 南部 淳 | * 太田 雄介 太田 雄介 赤松 明 | 安藤 鈴木 幸司 康之 | 谷澤 茂樹 安藤 義和 |
| 3 | 職業奉仕委員長 | 中根 正和 | 山田 康二 | 中根 克弘 | 三浦 太資 |
| 4 | 社会奉仕委員長 R C C 委員長 環境保全委員長 | 早川 勝博 | 光岡 主税 | 犬塚 光彦 | 間瀬 順一 |
| 5 | 国際奉仕委員長 識字率向上委員長 | 浅井 章 | 深津 明徳 | 梶川 勇次 | 松永 郁也 |
| 6 | 新世代奉仕委員長 インタークト委員長 ロータークト委員長 R Y L A 委員長 青少年交換委員長 | 酒部 圭司 | 杉浦 秀明 木戸 泰彦 | 酒部 佳直 | 阪本 守 鈴木 健 長坂 剛充 |
| 7 | ロータリー財団委員長 | 杉浦健太郎 | 小野 雅道 | 鳥居 守 | 近藤 正行 |
| 8 | 米山奨学委員長 | | 鈴村 幸伸 | 鬼頭 辰郎 | 杉浦 栄二 |
| 9 | 会長エレクト 副幹事 ロータリー情報委員長 ロータリー研修委員長 | ☆ 中村 重嗣 尾崎 篤司 林 和夫 | * 梅村 泰弘 野口 明生 横山 真久 横山 真久 | 服部 英男 志賀 為宏 | 佐藤 仁功 古井 弘二 中川 俊治 |

西三河分区【9RC】

| 分科会 | 次期クラブ役職 | 刈谷 | 安城 | 西尾 | 碧南 |
|-----|---|---|----------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 1 | 会長 副会長 幹事 会計 | ☆ 鳩津 孝久 ☆ 水越 彌生 野村紀代彥 毛受 豊 | 大見 宏 石川 義典 小林 逸朗 | 小田井博茂 杉田 明弘 天野 卓 加藤 典男 | 黒田 昌司 倉内 裕 木村 徳雄 森田 雅也 |
| 2 | クラブ奉仕委員長 広報委員長 雑誌委員長 I T 委員長 会員増強 | ☆ 加藤 真治 杉浦世志朗 深谷 嘉英 横山 宜幸 兵藤 文男 | 磯貝 廣治 岡田 良三 深津 正則 成田 孝則 | 柴田 高広 杉浦 澄雄 | 石橋 嘉彦 栗津 康之 伊藤 正幸 |
| 3 | 職業奉仕委員長 | 杉浦 芳一 | 横山真喜男 | 石川 哲朗 | 新美惣英(副) |
| 4 | 社会奉仕委員長 R C C 委員長 環境保全委員長 | 加藤 繁則 鈴木文三郎 | 山口 研 | 岡田 文雄 杉浦 広 | 山中 寛紀 |
| 5 | 国際奉仕委員長 識字率向上委員長 | 廣根 実 | 市川 護 | 岡田 雅彦 | 鶴田 光久 |
| 6 | 新世代奉仕委員長 インタークト委員長 ロータークト委員長 R Y L A 委員長 青少年交換委員長 | 橘 典子 | 藤井 英樹 | 山崎 秀夫 | 竹中 誠 |
| 7 | ロータリー財団委員長 | 伊藤 節夫 | 清水 正幸 | 杉浦 義浩 | 池田 弘孝 |
| 8 | 米山奨学委員長 | 中林 久美 | 加賀 昭成 | 斎藤 貢 | 長田 銑司 |
| 9 | 会長エレクト 副幹事 ロータリー情報委員長 ロータリー研修委員長 | ☆ 鈴木 豊 小川 耕示 神野 公秀 | 都築 雅人 神谷 研 石原 昭 | ☆ 朝岡 正 榎原 勝俊 | 長田 豊治 岡本 明弘 犬塚 敦統 |

☆ 地区委員兼務 * クラブ内兼任 (敬称略)

| 岡崎東 | | 豊田東 | | 岡崎城南 | | 豊田三好 | | 豊田中 | |
|-----|---|-----|---------------------------------|------|-------------------------|------|----------------|-----|----------------------------------|
| | 市川 幾雄 安川 政男 野村 政弘 | | 小島 波尾 鈴木 晴雄 鈴木 博之 浦野 朗 | | 近藤 憲康 井上 武彦 足立 修 | | 石川 道男 鬼頭 能和 | | 鈴木 純子 中山 憲和 加藤 敦 原田宗三郎 |
| * | 三浦 泰廣 安井 健次 安井 健次 安井 健次 本田 康英 | | 川崎 省治 鈴木 英治 | | 青山 幸市 佐野 克彦 天野 邦彦 | | 野々山 彰 伊藤 隆守 | ☆ | 木戸 重信 武内 節子 原田 隆司 山下 一美 |
| * | 坂野 弘 | | 近藤 邦夫 | | 松井 孝王 | | 寺本 繁 | | 本多 幹 |
| | 稻垣 寿 近藤 金作 草間 正弘 | | 梅村 昌吾 | | 小山 章仁 山本 信一 佐々木精史 | | | | 櫻井 博 山内ユミ子 |
| * | 酒井 賢 酒井 賢 | | 石橋 博文 | | 近藤 正俊 | | | | 鈴木 寛 |
| | 生駒 尚久 島田 英太 鈴木 佳樹 | | 松山 俊昭 | | 澤田 道明 柴田 仙功 萩原 啓至 | | 久野 徳積 | | 横地 朗 宇野 修市 |
| | 林 孝夫 | | 安藤 和広 | | 永坂 博彦 | | | | 太田 昌孝 |
| | 中川 和広 | | | | 杉山 隆章 | | | | 小久保茂樹 |
| | 青山 俊次 畔柳 秀幸 小木曾 進 | | 愛知 治 矢頭 功生 鈴木 敬一 | | 中根 常彦 磯部 亮次 桐潤 利次 | | 近藤 隆治 加藤 正志 | ☆ | 河合 英二 小島 哲夫 中條 善朗 |

| 一色 | | 高浜 | | 知立 | | 西尾KIRARA | | 三河安城 | |
|----|-------------------------|----|----------------------------------|----|---------------------------------|----------|-------------------------|------|------------------------|
| | 石川 量英 山下 保彦 鳥居 萬里 | | 浅岡 憲隆 高桑 雄司 伊藤 ルミ 笠松 栄治 | | 酒井 一造 神谷 修 水野 吉樹 渡辺 伸一 | | 青山 弦八 後藤 利之 杉浦 義利 | | 岡崎重太郎 杉山 敏幸 |
| | 篠田 義隆 小塚 周一 | | 鈴木 康博 | | 加藤 久和 神谷 太一 磯貝 一己 | | | | 竹内 泰夫 丹羽 修 久恒 治人 |
| | 鳥居 光 | | 桂川 兼行 | | 古久根 進 | | 山本 裕充 | | |
| | 都築 勇一 | | 小笠原芳夫 | | 松井 尚人 | | 磯貝貞一郎 | | 下村 幸真 |
| | 杉田 豊恭 | | 佐藤 啓 | | 杉原 透恭 | | 高須 光 | | 大見 和志 |
| | 小出 道治 | | 奥野 晓 | | 天野 光宏 | | | ☆ | 阿部 光廣 |
| | 藤井 基夫 | | 幸前 信雄 | | 山本 裕嗣 | | 太高 純治 | | 安藤 納 |
| | | | | | 中嶋 恒男 | | 岩瀬 清彦 | | 斎藤 博 |
| | 山下 民義 | | 森田 仁 | | 竹内 博之 | | 高須 勻 | ☆* | 成田 徹 |
| | | | 杉浦 義尚 | | 大橋 均 | | 鈴木 善和 | | 木村 恭子 |
| | 太田 幹浩 | | 名倉 隆司 神谷 義昌 野々山光秋 | | 倉田 英行 隅田 正之 高木 秀夫 | | 鈴木 正司 長谷 収一 | | 堀本 保美 山本 彰秀 |

登録者名簿

一般会員

(敬称略)

知多

牧川 正起 (第9分科会)
佐藤 一志 (第2分科会)

豊橋ゴールデン

桑田 朋之 (第4分科会)
鬼頭 秀幸 (第5分科会)

実行委員

| | |
|-------|-------|
| 三好 親 | 実行委員長 |
| 堀江 宏輝 | 実行委員員 |
| 樋尾 富二 | 実行委員員 |
| 小山 雅弘 | 実行委員員 |
| 松居 敬二 | 実行委員員 |
| 宮尾 紘司 | 実行委員員 |
| 西川 豊長 | 実行委員員 |
| 大谷 恩 | 実行委員員 |
| 尾関 武弘 | 実行委員員 |
| 笛野 義春 | 実行委員員 |
| 竹内 真三 | 実行委員員 |
| 舎人 経昭 | 実行委員員 |

名古屋清須

大久保審也 (第2分科会)

岡崎東

中根 匠規 (第6分科会)
加藤 和志 (第6分科会)

岩倉

武藤 栄司 (第3分科会)

豊田中

| | |
|-------|---------|
| 佐野 宏徳 | (第2分科会) |
| 福岡 和則 | (第2分科会) |
| 山岸 孝男 | (第4分科会) |
| 須賀 誠 | (第4分科会) |

名古屋

| | |
|-------|---------|
| 服部 陽一 | (第6分科会) |
| 伊藤 嘉浩 | (第6分科会) |
| 神谷 誠 | (第7分科会) |
| 川村 晃司 | (第4分科会) |
| 中村 克央 | (第4分科会) |
| 渋谷 文平 | (第6分科会) |

碧南

| | |
|-------|---------|
| 新美 雅浩 | (第9分科会) |
| 藤関 孝典 | (第2分科会) |
| 亀山 裕一 | (第6分科会) |

名古屋中

| | |
|-------|---------|
| 浅井 忠治 | (第3分科会) |
| 鶴見 俊成 | (第3分科会) |
| 瀬木隆一郎 | (第3分科会) |

一色

| | |
|-------|---------|
| 早川比呂太 | (第3分科会) |
| 磯貝 満 | (第8分科会) |
| 長田 治 | (第4分科会) |
| 笠井 保志 | (第8分科会) |
| 神谷 正康 | (第5分科会) |
| 鈴木 泰光 | (第6分科会) |
| 牧野 伸治 | (第2分科会) |
| 渡邊 勝行 | (第6分科会) |

名古屋瑞穂

森 恒夫 (第8分科会)

三河安城

| | |
|-------|---------|
| 小西紀久雄 | (第8分科会) |
| 富田 清治 | (第9分科会) |

名古屋北

| | |
|-------|---------|
| 森實 敏彦 | (第2分科会) |
| 藏富 恒彦 | (第2分科会) |
| 谷田部二郎 | (第2分科会) |

名古屋錦

金子 紀子 (第4分科会)

渥美

小松 浩 (第1分科会)

登録者名簿

インターラクトクラブ

(敬称略)

| 分科会 | 学校名 | 顧問名 |
|-----|----------------|-----------------|
| 6 | 豊川高等学校 | 平松 正至 |
| 6 | 豊田工業専門学校 | 加藤 弓枝 |
| 6 | 岡崎城西高等学校 | 奥出 朝紀 |
| 6 | 名古屋インターラクトクラブ | 鈴木 一弘 |
| 6 | 人間環境大学岡崎学園高等学校 | 谷本 信子 |
| 6 | 安城学園高等学校 | 岡山 直樹 |
| 6 | 修文女子高等学校 | 石井 恭二 佐々木 規子 |
| 6 | 光が丘女子高等学校 | 谷口 千賀子 |
| 6 | 阿久比高等学校 | 岩井 玲子 |
| 6 | 千種高等学校 | 大宮 秀樹 |
| 6 | 桜花学園高等学校 | 河合 保昌 矢頭 彩 |
| 6 | 誉高等学校 | 小林 淑一 今尾 吉宏 |
| 6 | 春日丘高等学校 | 松本 誠太 |
| 6 | 愛知啓成高等学校 | 川添 洋一郎 |

登録者名簿

ローターアクトクラブ

(敬称略)

| 分科会 | クラブ名 | クラブ役職 | 氏名 |
|-----|-----------|--------------|--------|
| 6 | 名古屋みなとRAC | 地区RA代表エレクト | 鏡味 純弥 |
| 6 | 名古屋みなとRAC | 次期地区RA幹事 | 小西 杏奈 |
| 6 | 岡崎RAC | 次期会長 | 寺嶋 保成 |
| 6 | 岡崎RAC | 次期幹事 | 榎原 麻衣子 |
| 6 | 豊橋RAC | 次期会長 | 武藤 広晃 |
| 6 | 豊橋RAC | 次期幹事代理（今期会長） | 佐藤 久恵 |
| 6 | 江南RAC | 次期会長 | 和田 典子 |
| 6 | 江南RAC | 次期幹事 | 花岡 意佐夫 |
| 6 | 名古屋熱田RAC | 次期会長 | 増田 慎太郎 |
| 6 | 名古屋熱田RAC | 次期幹事 | 鈴木 麻緒 |
| 6 | 名古屋名城RAC | 次期会長 | 中田 真理子 |
| 6 | 豊田広域RAC | 次期会長 | 都築 諭 |
| 6 | 豊田広域RAC | 次期幹事 | 大岩 佳司 |



地区大会・次期地区協議会のご案内

2012-2013年度地区大会ご案内

安城ロータリークラブ 大会実行委員長 脊名俊裕

また赤いヤッケで登場いたしました。

次年度の地区大会は**2012年10月27日、28日**、会場は、**ここウェスティンナゴヤキャッスル**で開催する所存でございます。次年度は千田 毅ガバナーのもとに、千田ガバナーの Touch the Rotary でどのような地区大会をというふうにいろいろ模索しました。今年やられた名古屋瑞穂ロータリークラブさんを参考にさせていただいて、一度地区大会に来て二度楽しむという形でもって、土曜日の講師、そして日曜日の講師と2回にわたる講演を企画いたしました。

最初の10月27日は、大変美人の俳優さんでもあります紺野美沙子さんに、R I の田中会長の『奉仕を通じて 平和を』というテーマに基づきまして、「思いやりの気持ちが平和をつくる」というテーマでもってお話を1時間半していただこうと考えております。

そしてまた10月28日は、元中日ドラゴンズの

監督でございます落合博満氏でございまして、やはり中日ドラゴンズを優勝に何度も導いた名監督でございますので、その落合博満元監督から「オレ流輝ける野球人生」。今ダイヤモンド社から「采配」という本を出しておりますけれども、その中に「孤独に勝たなければ、勝負に勝てない」と。チームワークは非常に大切でありますけれども、やはり自分自身に勝つことが非常に大切だ。

昨今、日本の経済においても、東日本においても、自分自身に勝つという気持ちが非常に大切だと考えましたので、一度で二度楽しむ地区大会を安城ロータリークラブ全員の総意でもって企画し、皆様方をお迎えする所存でございますので、ぜひ今日ご参列の皆様方、そしてクラブへ帰つてからも皆さん方にお伝え願つて、大いに楽しく有意義な地区大会になろうかと思いますので、ぜひご参加をお願いし、PRとさせていただきます。

今日はどうもありがとうございました。

2013-2014年度のための地区協議会のご案内

一色ロータリークラブ 会長 石川量英

皆様、こんにちは。

私たちは三河湾中央部から創立50年を迎えた、会員数32名の一色ロータリークラブでございます。

次年度地区協議会は**2013年4月14日**、ここ**ウェスティンナゴヤキャッスル**で開催することになります。当クラブがホストを務めさせていただきますのでよろしくお願ひいたします。

大勢の方のご参加をいただき、ご登録をいただき、来年の地区協議会を成功させたいと考えております。

また、本年と同様、有意義な地区協議会が開催できますことを念願しておりますので、皆様方多数の方にご登録いただきますようご協力をよろしくお願いいたします。

お願いをもってご挨拶にします。

Peace Through Service

奉仕を通じて 平和を